

GARMIN®



FUSION APOLLO™ MS-RA800

操作マニュアル

© 2025 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、Garmin BlueNet™、ANT®、Fusion®、および Fusion ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。Fusion Apollo™、Connect IQ™、Fusion® Audio、および Fusion PartyBus™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Apple、Apple ロゴ、および iPhone は、米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。App Store™は米国およびその他の国における Apple Inc.のサービスマークです。Android™および Google Play™Google Inc.の商標です。BLUETOOTH®ワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.が所有しており、Garmin はライセンスに基づきこのマークを使用しています。NMEA 2000®、および NMEA 2000 ロゴは、National Marine Electronics Association の登録商標です。Wi-Fi®は Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。その他の商標および商標名はそれぞれの所有者に帰属します。

M/N: MS-RA800, A04580/B04580

IC: 1792A-A04580

船用音響主机

目次

はじめに..... 1

ステレオのコントロール.....	1
再生コントロール.....	2
ジェスチャー画面.....	2
テキストの入力.....	3
ダイヤルを使用したアイテムの選 択.....	3
ステレオ画面.....	3
ステータスアイコン.....	4
デバイスの名前指定.....	4
ホームゾーンの設定.....	4
ソースを選択する.....	4
バックライトとダイヤルの輝度を調整す る.....	4

オーディオコントロール..... 5

音量を調整する.....	5
接続したすべてのステレオをミュート する.....	5
サブウーファーレベルを調整する.....	5
トーンを調整する.....	5
ゾーンの大音量設定を無効にする.....	5
補助デバイスのゲインを調整する.....	6
スピーカーゾーン.....	6
DSP 設定.....	6
DSP 設定を構成する.....	6
速度に基づく自動音量調整.....	7

メディアプレーヤー接続..... 7

Bluetooth デバイスの再生..... 7

対応する Bluetooth デバイスを接続す る.....	8
Bluetooth 範囲の情報.....	8
別の Bluetooth デバイスの選択.....	8
Bluetooth ソースメニューと設定.....	9
Bluetooth 自動接続を無効にする.....	9
Bluetooth 音声とビデオの同期の問題 を修正する.....	9

USB デバイスの再生..... 10

USB デバイスの互換性.....	10
USB デバイスを接続する.....	10
USB フラッシュドライブ、メディアプレ ーヤーで音楽再生を制御する.....	11

接続した Apple デバイスで音楽再生を 制御する.....	11
USB ソース設定.....	11

ラジオ..... 11

チューナーの地域を設定する.....	11
ラジオ局の変更.....	12

Apple AirPlay..... 12

Apple を使用した AirPlay デバイスの接 続.....	12
AirPlay パスワードを設定する.....	12

補助デバイスを接続する..... 12

オーディオリターンチャンネル..... 13

ARC（オーディオリターンチャンネル） ソースでの音声とビデオの同期の問題を 修正する.....	13
--	----

DAB の再生..... 13

チューナーの地域を設定する.....	13
DAB 放送局のスキャン.....	13
DAB 放送局の変更.....	14
DAB 放送局をリストから選択する..	14
DAB 放送局をカテゴリから選択す る.....	14

プリセット..... 14

放送局またはチャンネルをプリセットと して保存する.....	14
プリセットをリストから選択する.....	14
プリセットを削除する.....	14

Fusion PartyBus ネットワーク..... 15

グループの作成.....	15
グループの編集.....	15
グループから退出する.....	15
グループ化されたステレオ機能.....	16
グループ化されたステレオソースに関す る注意事項.....	16
グループの同期化.....	17
グループ同期を有効にする.....	17

LED 照明コントロール..... 18

LED ライトのオン/オフの切り替え.....	18
LED ライト効果をオンにする.....	18

LED ライトシーンの開始	18
音楽に反応するように LED ライトを設定する	19
LED ライトの制御と設定 (ActiveCaptain アプリを使用)	19
ActiveCaptain アプリの操作手順	19
接続済みの LED ライトの初期化 (ActiveCaptain アプリを使用)	20

一般設定..... 20

スピーカーゾーンの設定	21
内蔵アンプを無効にする	21
ホームゾーンの設定	21
ソースとゾーンの音量レベルを同期する	21
電源オン音量制限を調整する	21
個々のゾーンの音量レベルを維持する	22
速度に基づく自動音量調整を有効にする	22
自動音量調節設定	22
ゾーンを無効にする	23
ゾーン名を設定する	23
ゾーンをリンクする	23
ゾーン 3 または 4 の音量調節を接続されたアンプからできるようにする	23
サブウーファーフィルタを調整する	23
ゾーンの追加のオーディオ設定を調整する	24
電源オプション	24
ソースの設定	24
DAB および FM アンテナ用のアンテナポートの設定	25
ネットワークの設定	25
Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントに接続する	25
Wi-Fi Protected Setup を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続	26
Apple ワイヤレスアクセサリ構成を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続	26
Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する	26
ワイヤレスアクセスポイントの設定	27

高度なネットワーク設定	27
Fusion PartyBus デバイスを DHCP サーバーとして設定する	28
Garmin ネットワークへのステレオの接続	29
静的 IP アドレスを設定する	30
ネットワーク設定をリセットする	30
更新オプション	31

追加のステレオコントロールオプション.....31

Garmin ウォッチに接続する	31
ARX70 リモートコントロールに接続する	32
Fusion Audio ワイヤレスリモートコントロールアプリ	32
Fusion ステレオネットワークの接続とコントロール	32
NMEA 2000 リモコンおよびディスプレイ	32
NMEA 2000 の情報	33

付録..... 33

Fusion デバイスの登録	33
デバイスのクリーニング	33
ソフトウェア更新	33
USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する	34
ソフトウェア更新を手動でダウンロードする	35
Garmin Express アプリを使用したソフトウェア更新のダウンロード	35
準備した USB フラッシュドライブからソフトウェアを更新する	36
Fusion Audio アプリを使用したソフトウェアの更新	37
ネットワーク更新オプション	37
Garmin ネットワークの更新の一部としてソフトウェアを更新する	38
E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示	38
ステレオの Web ページ	38
ステレオの Web ページへのアクセス	38
ステレオの Web ページからステレオを更新する	39
トラブルシューティング	39

キーを押してもステレオが反応しない	39
ステレオは DAB 放送局を受信しません.....	39
Bluetooth オーディオがわずかな時間 中断する	39
Bluetooth ソースの曲情報のうちステ レオに表示されないものがある	39
ネットワークのトラブルシューティン グ	40
ネットワークステータスのアイコ ン	40
ソフトウェア更新のトラブルシューテ ィング	41
ステレオが Garmin ネットワーク更 新の一部として更新されない	41
ステレオは Apple デバイスに接続し たときロックされたままになる	41
接続されている Apple デバイスをス テレオが見つけれられない	42
Apple AirPlay オーディオがわずかな 時間中断する	42
仕様	42
ネットワークインターフェースとサービ ス	43
ステレオ寸法図面	44
側面寸法	44
上部寸法	44

はじめに

⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている「安全および製品に関する警告と注意事項」を参照してください。

ステレオのコントロール



ダイヤル	• 音量を調整します。 • 音量を調節しているとき、押すとゾーンが切り替わります。 • 回すと、メニューを移動したり設定を調整したりできます。 • メニュー表示で、押すと強調表示されたオプションを選択できます。 • 長押しすると、ラジオプリセットを開く、またはミュート画面 (接続したすべてのステレオをミュートする, 5 ページ) から接続されているすべてのステレオをミュートにするなどの特定の機能が有効になります。
	押すとソースが変わります。 ヒント：ダイヤルを回して参照し、ダイヤルを押してソースを選択できます。画面を上下にスワイプして、画面上のソースをタッチすることもできます。 Fusion PartyBus™ ネットワーク (Fusion PartyBus ネットワーク, 15 ページ) に接続しているときに長押しするとグループメニューが開きます。
	押すとメニューが開きます。
	• 押すとステレオがオンになります。 • 押すと音声ミュートされます。 • 長押しすると、ステレオ、またはネットワーク上のすべてのステレオがオフになります。 • 10 秒以上長押しして、ステレオをリセットします。

再生コントロール

画面上の再生コントロールは、選択したソースによって異なる場合があります。

注意：約 15 秒後、ジェスチャー画面機能によって再生コントロールが非表示になります。画面を下にスワイプすると、再生コントロールを表示できます ([ジェスチャー画面, 2 ページ](#))。

	押すと、メディアの再生を一時停止します。
	• 押すと、メディアを再生するか、メディアの再生を再開します。
	• 押すと前のトラックにスキップします（該当するソースを使用している場合）。 • 長押しするとトラックが巻き戻しされます（該当するソースを使用しているとき）。 • AM、FM ソース： ◦ 押すと、前回の局やプリセットにチューニングされます。 ◦ 長押しすると、チューニングが速くなります（手動モードのみ）。 • DAB ソース： ◦ 押すと、アンサンブルで前の DAB 局に戻ります。現在のアンサンブルの始めに到達したら、前のアンサンブルで聴ける最後の局に自動的に変わります。 ◦ 長押しすると、前の DAB アンサンブルに戻ります。
	• 押すと次のトラックへスキップします（該当するソースを使用しているとき）。 • 長押しするとトラックが早送りされます（該当するソースを使用しているとき）。 • AM、FM ソース： ◦ 押すと、次の局またはプリセットにチューニングされます。 ◦ 長押しすると、チューニングが速くなります（手動モードのみ）。 • DAB ソース： ◦ 押すと、アンサンブルで次の DAB 局に進みます。現在のアンサンブルの最後に到達したら、次のアンサンブルで利用できる 1 つ目の放送局に自動的に変更されます。 ◦ 長押しすると、次の DAB アンサンブルに進みます。
 (AM または FM ソース)	押すと、チューニングモード（自動または手動）とプリセットが切り替わります。 長押しすると、現在の局がプリセットとして保存されます。
 (DAB ソース)	押すと、手動チューニングモードとプリセットが切り替わります。 長押しすると、DAB 放送局がスキャンされます。
 (Aux および ARC ソース)	押すと、ゲインが上がります。
 (Aux および ARC ソース)	押すと、ゲインが下がります。

ジェスチャー画面

約 15 秒後、メディア情報とジャケットのみを表示する画面が表示されます。タッチスクリーンを使用すると、この画面を操作できます。

- 左右にスワイプすると、トラックまたはプリセットを変更できます。
- ソースに応じて、画面を約 1 秒間タッチして再生を一時停止したり、オーディオをミュートできます。
- 下にスワイプすると、再生コントロール画面に戻ることができます。

注意：この画面は設定で無効にできます ([電源オプション, 24 ページ](#))。

テキストの入力

- 1 テキストを入力できるフィールドで、✕を選択して、既存のテキストを消去します。
- 2 必要に応じて、◀または▶を選択して数字、記号、または小文字を使用します（使用可能な場合）。
- 3 文字をタッチして選択します。
- 4 ✓を選択して、新しいテキストを保存します。

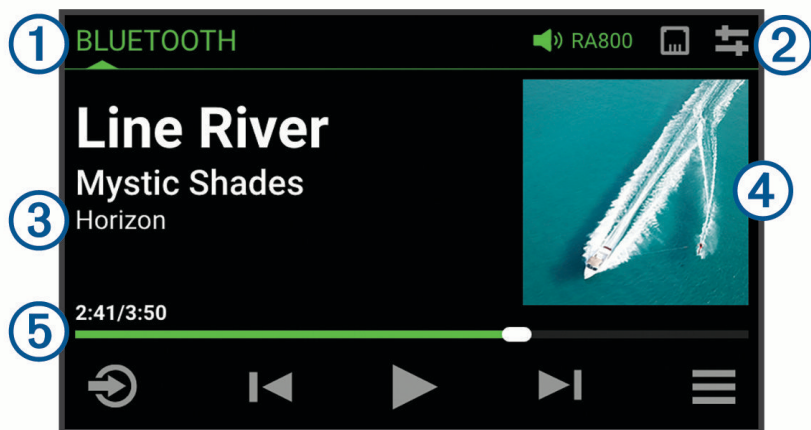
ダイヤルを使用したアイテムの選択

ダイヤルを使用して、画面のアイテムを強調表示して選択できます。

- ダイヤルを回して、画面のアイテムを強調表示します。
- ダイヤルを押して、強調表示されたオプションを選択します。

ステレオ画面

画面に表示される情報は、選択したソースに応じて異なります。画面上の再生コントロールは、選択したソースに応じて異なる場合があります（[再生コントロール, 2 ページ](#)）。この例では、Bluetooth®無線技術を使用して接続したデバイスでのトラックの再生を示しています。



①	ソース名
②	アクティブゾーン、ステータスアイコン、およびショートカット（ステータスアイコン, 4 ページ） ヒント：アイコンに触れると、該当するページが開きます。
③	トラックの詳細（利用可能な場合）
④	アルバムアート（対応ソースから得られる場合）
⑤	経過時間、トラックの再生時間、プレイリスト内の総トラック数のうち現在のトラック番号（該当する場合）

ステータスアイコン

ステータスアイコンをタッチして、該当する画面を開くことができます。

	音量画面を開きます。
	プリセット画面を開きます。
	ネットワーク設定を開きます。 注意：このステレオがグループの一部である場合は、ネットワーク設定にアクセスできません。

デバイスの名前指定

Fusion PartyBus ネットワーク上で本機を表示する際に識別しやすくするように、本機に一意の名前を付ける必要があります。

注意：ステレオやゾーンをグループ化、制御、設定する際に混乱しないように、ネットワーク上のすべてのデバイスとゾーンに一意の名前を付ける必要があります。使用していないゾーンもオフにする必要があります ([スピーカーゾーンの設定, 21 ページ](#))。

さらにカスタマイズするには、各ステレオのソースに一意の名前を付け、未使用のソースをオフにします ([一般設定, 20 ページ](#))。

- 1  > **設定**の順に選択します。
- 2 **デバイス名**を選択し、オプションを選択します。
 - ・ リストから定義済みの名前を選択します。
 - ・ **カスタム名**を選択し、デバイスに一意の名前を入力します。

ホームゾーンの設定

ホームゾーンは、ダイヤルを回したときにデフォルトで調整されるスピーカーゾーンです。

- 1  > **設定**の順に選択します。
- 2 **ゾーン** > **ホームゾーンを割り当てます**を選択します。
- 3 ゾーンを選択します。

ソースを選択する

- 1  を選択します。
- 2 ダイヤルを回してソースを強調表示します。

注意：デバイスがグループの一部である場合、ダイヤルを回してグループ内の他のデバイスのソースにアクセスします ([グループの作成, 15 ページ](#))。

ソースは、グループと共有できない場合、グレーで表示され、選択できません。
- 3 ダイヤルを押してソースを選択します。

ヒント：または、画面上でソースにタッチして選択することもできます。

バックライトとダイヤルの輝度を調整する

注意：配線ハーネスの DIM ケーブルをボートの照明ケーブルに接続した場合、ボートのライトがオンになるとバックライトとダイヤルは自動的に暗くなります。これは輝度設定の調整に影響する場合があります。

- 1  > **バックライトレベル**を選択します。
- 2 輝度レベルを調整します。

オーディオコントロール

音量を調整する

このステレオを使用して、Fusion PartyBus ネットワークに接続されているステレオの任意のゾーンの音量を制御できます。

- 1 ダイアルを回して、ステレオのホームゾーンの音量を調整します。
- 2 必要に応じて、ダイアルを押してゾーンを切り替えます。

注意： このステレオがグループの一部である場合は、グループ内のすべてのステレオの音量、または各ステレオの個々のゾーンの音量を調整できます ([グループの作成, 15 ページ](#))。

接続したすべてのステレオをミュートする

このステレオまたは Fusion PartyBus ネットワークに接続されているすべてのステレオの音声をすばやくミュートできます ([Fusion PartyBus ネットワーク, 15 ページ](#))。

- 1 任意のソースで、を押します。
ミュート記号が表示され、このステレオの音声が消えます。

注意： ステレオがグループの一部である場合、グループ化されたすべてのステレオの音声が消えます。

- 2 **システムのミュート**を選択します。
接続しているすべてのステレオの音声が消えます。
- 3 **システムのミュート解除**を選択します。
接続したすべてのステレオで音声が復元します。

サブウーファーレベルを調整する

サブウーファーレベルはゾーンごとに調整できます。

- 1 ダイアルを押し、接続しているサブウーファーがあるゾーンを選択します。
- 2 ダイアルを長押しします。
ゾーンのサブレベル調整が表示されます。
- 3 サブウーファーレベルを調整し、ダイアルを押して設定します。

トーンを調整する

- 1  > **オーディオ**の順に選択します。
- 2 調整するゾーンを選択します。
- 3 ダイアルを押して、トーンを選択します。
- 4 トーンレベルを調整し、ダイアルを押して設定します。
スライダバーをドラッグすると、トーンレベルを調整できます。

ゾーンの大音量設定を無効にする

大きい設定は周波数応答を小音量で維持し、知覚されるラウドネスを大音量で増大します。この設定は、すべてのゾーンでデフォルトで有効になっています。

- 1  > **オーディオ**の順に選択します。
- 2 調整するゾーンを選択します。
- 3 **大きい**を選択して、チェックボックスをオフにします。

補助デバイスのゲインを調整する

接続した補助デバイスのゲインを調整して、他のメディアソースと同様の音量レベルにすることができます。ゲインは 1 dB 単位で調整できます。HDMI ケーブルを使用して、接続された ARC ソースのゲインを調整することもできます。

- 1 適切なソースを選択します。
- 2 次のオプションを選択します：
 - ゲインを上げるには、**+**を選択します。
 - ゲインを下げるには、**-**を選択します。

注意： ポータブルメディアプレーヤーをヘッドフォン出力で使用するときに最高の音質を得るには、ゲインを調整するのではなく、メディアプレーヤーの音量を調節することをお勧めします。

スピーカーゾーン

1 つのエリアのスピーカーをグループ化して、スピーカーゾーンにすることができます。これにより、ゾーンの音声レベルを個別に制御できます。たとえば、キャビン内のオーディオの音量を下げ、デッキの音量を上げることができます。

バランス、音量制限、トーン、サブウーファー周波数、および各ゾーンの名前、その他のゾーン固有の設定を設定できます ([スピーカーゾーンの設定, 21 ページ](#))。

注意： DSP で管理している場合、サブウーファーの周波数は調整できません。

DSP 設定

このステレオはデジタル信号処理 (DSP) 機能を備えています。あらかじめ構成された DSP 設定を Fusion スピーカーおよびアンプに選択して、オーディオ再生をそれぞれの設置場所で最適化することができます。

すべての DSP 設定は Fusion Audio リモートコントロールアプリ ([Fusion Audio ワイヤレスリモートコントロールアプリ, 32 ページ](#)) を使用して構成します。

DSP 設定を構成する

DSP 設定を構成する前に、Fusion Audio リモートコントロールアプリをダウンロードして対応する Apple または Android デバイスにインストールする必要があります ([Fusion Audio ワイヤレスリモートコントロールアプリ, 32 ページ](#))。

DSP 設定を構成して、設置したスピーカーやアンプ、および環境で各ゾーンのサウンドを最適化できます。

- 1 Apple または Android デバイスの設定メニューから、Bluetooth テクノロジーを使用してステレオに接続するか、ステレオと同じワイヤレスネットワークに接続します。

注意： 互換性のある Apple デバイスをお持ちの場合は、デバイスに適した USB 同期ケーブル (別売) をステレオの USB ポートと Apple デバイスに接続し、Fusion Audio アプリを使用して DSP 設定を構成できます。

- 2 Fusion Audio リモートコントロールアプリを対応の Apple または Android デバイスで開きます。
 - 3 必要に応じて、構成するステレオを選択します。
 - 4  を選択します。
 - 5 必要に応じて、**音楽** タブを選択します。
 - 6 ゾーンを選択します。
 - 7 **DSP 設定** を選択します。
 - 8 DSP 設定の構成が必要であれば、ゾーンに接続している Fusion スピーカーおよびアンプのモデルに応じて行います。
 - 9 **DSP 設定の送信** を選択します。
- 注意：** ゾーンの DSP 設定または更新は、ボタンを選択して設定を送信するまでステレオに適用されません。
- 10 これらの手順をゾーンごとに繰り返します。

速度に基づく自動音量調整

お使いのステレオが、エンジン、チャートプロッター、GPS アンテナ、航行スピードセンサー、または風速センサーなど、速度情報を提供するデバイスで NMEA 2000 ネットワークに接続されている場合、選択した速度ソースに基づいて自動的に音量を調整するようにステレオを設定できます ([速度に基づく自動音量調整を有効にする, 22 ページ](#))。

たとえば、内蔵 GPS アンテナまたはスタンドアロン GPS アンテナを搭載したチャートプロッターがステレオと同じ NMEA 2000 ネットワーク上にあり、速度ソースを SOG に設定すると、速度が上がるにつれて音量が上がります。

注意： 速度に合わせて音量が上がるとき、実際の音量出力は変化しますが、音量レベルインジケータバーと数字は変化しません。

ステレオを NMEA 2000 ネットワークに接続する方法の詳細については、お使いのステレオのインストールガイドを参照してください。

メディアプレーヤー接続

⚠ 警告

操船中のメディアプレーヤー画面の操作は最小限にとどめてください。注意が散漫になり、事故が発生して重傷や死亡事故につながるおそれがあります。

注意

メディアプレーヤーは、使用しないときは必ずステレオから切り離し、船内に置いたままにしないでください。これにより、極端な高温による損傷や盗難のリスクを減らすことができます。

ステレオは、スマートフォンやその他のモバイル機器など、さまざまなメディアプレーヤーに対応しています。互換性のあるメディアプレーヤーでサポートされている場合は、USB-C コネクタ付きケーブルを使用してステレオの USB ポートに接続できます。正規の USB ケーブルは、Garmin 販売店または garmin.com ステレオは AirPlay 機能を使用して同じネットワークに接続された互換性のある Apple デバイスからメディアを再生できます。

Bluetooth デバイスの再生

ステレオは最大で 8 台の Bluetooth メディアデバイスとペアリングできます。

すべての Bluetooth デバイスでステレオコントロールを使用して再生を操作できます。また、一部のデバイスでは、ステレオのメニューから音楽コレクションを参照できます。

メディアの参照をサポートしていない Bluetooth デバイスでは、曲やプレイリストをメディアデバイスで選択する必要があります。

曲の情報（曲のタイトル、アーティスト名、トラック再生時間、ジャケットなど）が表示されるかどうかは、メディアプレーヤーの機能と音楽アプリケーションによって異なります。

対応する Bluetooth デバイスを接続する

対応する Bluetooth デバイスからメディアを、Bluetooth ワイヤレス接続を使用して再生できます。

音楽再生は Bluetooth デバイスのメディアアプリを使用したり、Fusion Audio リモートコントロールアプリを使用したりして制御できます ([Fusion Audio ワイヤレスリモートコントロールアプリ](#), 32 ページ)。

注意： Bluetooth 標準のため、Bluetooth デバイスをステレオに接続しても、安全なプライベート接続は確立されません。

- 1 **BLUETOOTH** ソースを選択します。
- 2  > **BLUETOOTH** > **コネクション** > **検出可能**の順に選択して、ステレオを対応 Bluetooth デバイスが認識できるようにします。
- 3 Bluetooth をご使用の対応 Bluetooth デバイスで有効にします。
- 4 対応する Bluetooth デバイスをステレオから 10 m (33 ft.) 内に置きます。
- 5 対応する Bluetooth デバイスで、Bluetooth デバイスを検索します。
- 6 対応する Bluetooth デバイスで、検出されたデバイスのリストからステレオを選択します。
注意： ステレオが Bluetooth デバイスリストにデバイス名として表示されます (設定で変更されていない限り、デフォルト名は MS-RA800 です)。
- 7 対応する Bluetooth デバイスで、画面の指示に従って検出されたステレオとペアリングし、接続します。
ペアリング中に、対応 Bluetooth デバイスからステレオのコードを確認するよう求められる場合があります。ステレオにコードが表示されている場合は、ペアリングする前にコードを比較できます。ステレオにコードが表示されない場合は、Bluetooth デバイスでメッセージを確認すると正しく接続されます。
- 8 対応する Bluetooth デバイスがすぐにステレオに接続されない場合は、手順 1~7 を繰り返します。
注意： 別の Bluetooth デバイスがステレオで音楽を再生している場合、新しいデバイスを接続しても再生が中断されることはありません。新しく追加したデバイスを使用する場合は、そのデバイスを選択する必要があります ([別の Bluetooth デバイスの選択](#), 8 ページ)。

検出可能設定は、2 分後に自動的に無効になります。

注意： 一部の Bluetooth デバイスでは、デバイス上で音量を調節するとステレオの音量レベルに影響します。

Bluetooth 範囲の情報

ステレオおよび Bluetooth ワイヤレスデバイスの通信距離は 10 m (33 ft.) です。最適なパフォーマンスが得られるように、Bluetooth ワイヤレスデバイスからステレオまでの障害のない見通し線が確保されている必要があります。

注意： Wi-Fi 信号が Bluetooth デバイスの接続に干渉する可能性があります。ステレオを使用していない場合は、ステレオの Wi-Fi 設定をオフにする必要があります。

別の Bluetooth デバイスの選択

複数の Bluetooth デバイスがステレオとペアリングされているときは、異なるデバイスを必要に応じて選択できます。ステレオは最大で 8 台の Bluetooth デバイスとペアリングできます。

- 1 **BLUETOOTH** ソースを選択した状態で、 > **BLUETOOTH** > **コネクション** > **ペアリングされたデバイス**の順に選択します。
- 2 Bluetooth デバイスを選択します。

Bluetooth ソースメニューと設定

BLUETOOTH ソースを選択した状態で、 > BLUETOOTH の順に選択します。

注意： このメニューのオプションは、接続されているデバイスに応じて異なります。

コネクション > 検出可能: ステレオは Bluetooth デバイスが認識可能になります。この設定をオフにすると、Bluetooth デバイスをステレオにペアリングした後でオーディオが中断されるのを防ぐことができます。

コネクション > ペアリングされたデバイス: ステレオとペアリングされた Bluetooth デバイスのリストを表示します。デバイスが範囲内にある場合は、リストで選択してステレオに接続できます。

コネクション > デバイスを削除: Bluetooth デバイスをステレオから取り外します。この Bluetooth デバイスの音声を再び聴くには、デバイスを再度ペアリングする必要があります。

注意： また、Bluetooth デバイスの再ペアリング時に接続の問題が発生しないように、お使いのデバイスのペアリングされたデバイスリストからステレオを削除する必要があります。

繰り返し: 現在の選択範囲に対して繰り返しモードを設定します (Apple デバイスのみ)。1 回繰り返しオプションを選択すると、現在の選択を繰り返すことができます。すべて繰り返しオプションを選択すると、選択したすべてのアイテムを繰り返すことができます。

シャッフル: フォルダ、アルバム、またはプレイリストのトラックをシャッフルします (Apple デバイスのみ)。

プレイリスト: デバイスにあるプレイリストを表示します (Apple デバイスのみ)。

アーティスト: デバイスにあるアーティストを表示します (Apple デバイスのみ)。

アーティスト: デバイスにあるアルバムを表示します (Apple デバイスのみ)。

ジャンル: デバイスにある音楽ジャンルを表示します (Apple デバイスのみ)。

曲: デバイスにある曲を表示します (Apple デバイスのみ)。

APPLE MUSIC RADIO: デバイスに Apple Music ラジオ局を表示します (Apple デバイスのみ)。

Bluetooth 自動接続を無効にする

デフォルトでは、ステレオは起動すると、最後に接続した Bluetooth デバイスに自動的に再接続します。この設定は無効にできます。

 > **設定 > ソース > BLUETOOTH > 自動接続** の順に選択します。

自動接続チェックボックスがオフの場合、ステレオは自動的に Bluetooth デバイスに再接続しようとしません。この機能が無効になっている場合は、手動で Bluetooth デバイスを選択して接続する必要があります ([別の Bluetooth デバイスの選択](#), 8 ページ)。

Bluetooth 音声とビデオの同期の問題を修正する

Bluetooth デバイスをステレオに接続していて、デバイスでビデオを視聴している場合、音声が遅延してビデオと一致なくなることがあります。これはネットワーク設定が原因である可能性が高く、修正することができます。デフォルトでは、Bluetooth ソースはネットワーク上でストリーミングソースとして使用できるように設定されています。このために、ソースデバイスでビデオを表示する際に音声の同期の問題が発生することがあります ([グループ化されたステレオソースに関する注意事項](#), 16 ページ)。

1 任意のソースから、 > **設定 > ソース > BLUETOOTH** の順に選択します。

2 **グループが有効**を選択して、チェックボックスをオフにします。

BLUETOOTH ソースはネットワークストリーミングのオプションではなくなり、音声の遅延が低減または解消されます。

USB デバイスの再生

さまざまな USB メディアプレーヤーや USB フラッシュドライブをステレオに接続できます。USB ソースへのアクセス方法は、接続されているメディアプレーヤーのタイプによって異なります。

メディアプレーヤー	ソースの選定
Apple デバイス	iPod
USB フラッシュドライブ	USB
MP3 メディアプレーヤー（大容量記憶装置として）	USB 注意： MP3 メディアプレーヤーが USB 接続時に大容量記憶をサポートしていない場合は、補助デバイスとしてステレオに接続しなければなりません (補助デバイスを接続する, 12 ページ)。

すべての USB デバイスでステレオコントロールを使用して再生を操作できます。また、一部のデバイスでは、ステレオのメニューから音楽コレクションを参照できます。メディアの参照をサポートしていない USB デバイスでは、曲やプレイリストをメディアデバイスで選択する必要があります。

曲の情報（曲のタイトル、アーティスト名、トラック再生時間など）が表示されるかどうかは、メディアプレーヤーの機能と音楽アプリケーションによって異なります。

USB デバイスの互換性

USB フラッシュドライブを使用するか、メディアプレーヤーに付属している USB ケーブルを使用してメディアプレーヤーまたはモバイルデバイスを USB ポートに接続できます。

ステレオは iAP2 Apple デバイスと互換性があります。

ステレオは、メディアプレーヤーや他の USB 大容量記憶装置（USB フラッシュドライブを含む）に対応しています。USB ドライブ上の音楽は以下の条件を満たす必要があります。

- 音楽ファイルの形式は、MP3、AAC（.m4a）、WAV、FLAC である必要があります。
- ポータブルハードディスクを接続する場合は、外部の電源に接続する必要があります。このステレオの USB ポートは、ポータブルハードディスクに電力を供給できません。
- USB 大容量記憶装置は、次のいずれかのシステムを使用してフォーマットする必要があります。
 - Microsoft¹：NTFS、VFAT、FAT¹、MSDOS
 - Apple：HFS、HFSPLUS
 - Linux：EXT2、EXT3、EX4

USB デバイスを接続する

USB デバイスをステレオの USB ポートに接続できます。

- ステレオの背面にある USB ポートの位置を確認します。
- USB デバイスを USB ポートに接続します。

注意： 接続された USB-C デバイスからの読み取りで問題が発生した場合は、プラグを逆向きに差し込んでみてください。一部の USB-C ケーブルは、向きにより性能が変わる場合があります。

¹ FAT には、ほとんどのタイプの FAT ファイルシステムが含まれています（exFAT を除く）。

USB フラッシュドライブ、メディアプレーヤーで音楽再生を制御する

- 1 対応する USB フラッシュドライブまたはメディアプレーヤーをステレオに接続します。
- 2 **USB** ソースを選択します。
- 3  > **USB** の順に選択します。
- 4 USB デバイスの名前を選択します。
- 5 デバイスで音楽ファイルを参照し、再生を開始します。

ステレオコントロールを使用してトラックの選択、再生、一時停止、スキップができます。

ヒント： USB メディアプレーヤーに画面およびコントロールがある場合は、USB メディアプレーヤーでコントロールを使用して再生を操作できます。

接続した Apple デバイスで音楽再生を制御する

- 1 USB を使用して、対応する iAP2 Apple デバイスをステレオに接続します。
- 2 ステレオで **iPod** ソースを選択します。
- 3 接続した Apple デバイスで音楽アプリケーションを起動し、再生を開始します。

Apple デバイスの音楽アプリを使用して再生を制御したり、ステレオコントロールを使用してトラックの選択、再生、一時停止、スキップを行うことができます。AppleMusic アプリを使用している場合は、ステレオコントロールを使用して音楽ディレクトリをブラウズすることもできます。

USB ソース設定

USB デバイスを接続し、USB ソースを選択した状態で、 > **USB** を選択します。

注意： このメニューを使用して、接続されたデバイスの名前を選択してファイルの内容を閲覧することもできます。このメニューのオプションは、接続されているデバイスに応じて異なります。

繰り返し： USB ソースの場合は、選択すると、リストの最後のトラックが再生された後、最初からトラックの再生が開始されます。

iPod ソースの場合は、1 回繰り返しを選択すると、現在のトラックが繰り返され、すべて繰り返しを選択すると、最後のトラックの再生後に現在選択されているトラックの最初から再生を開始します。

シャッフル： USB ソースの場合は、選択すると、リストのトラックがランダムに再生されます。

iPod ソースの場合は、選択すると、現在選択されているトラックがランダムに再生されます。

ラジオ

AM または FM ラジオを聞くには、適切な船舶用 AM/FM アンテナをステレオに正しく接続し、放送局の受信範囲内にいる必要があります。AM/FM アンテナの接続方法については、ステレオ設置ガイドを参照してください。

DAB 放送局を聴くには、DAB アンテナを接続し、必要に応じてアンテナポートを設定し (DAB および FM アンテナ用のアンテナポートの設定, 25 ページ)、適切なチューナー地域を選択します (チューナーの地域を設定する, 13 ページ)。

チューナーの地域を設定する

AM/FM 局を正しく受信するには、所在している地域を選択する必要があります。

DAB 放送局を正しく受信するには、所在している地域を選択する必要があります。

注意： DAB 局は、一部の地域ではご利用になれません。

- 1  > **設定** の順に選択します。
- 2 **チューナーの地域** を選択します。
- 3 所在している地域を選択します。

ラジオ局の変更

- 1 適切なソース (FM) を選択します。
- 2 **MA★** を繰り返し選択してチューニングモードを移動し、オプションを選択します。
 - 次に使用可能な局をスキャンして停止するには、**自動** を選択します。
 - 手動で局を選択するには、**手動** を選択します。
 - 保存した局のプリセットを選択するには、**プリセット** を選択します。
- 3 **◀** または **▶** を選択して、局にチューニングします。
手動 チューニングモードでは、**◀** または **▶** を押し続けると、局をすばやく移動できます。

Apple AirPlay

Apple を使用した AirPlay デバイスの接続

- 1 Apple デバイスの設定メニューから、互換性のある Fusion ステレオと同じワイヤレスネットワークに接続します。
ヒント： WAC (ワイヤレスアクセサリ構成) を使用して、Apple をステレオと同じネットワークにすばやく接続できます ([Apple ワイヤレスアクセサリ構成を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続, 26 ページ](#))
注意： 一部の Apple デバイスは、有線のイーサネット接続を使用してネットワークに接続できます (該当する場合)。詳細については、Apple のウェブサイトを参照してください。
- 2 Apple デバイスで、ステレオにストリーミングする音楽アプリを開きます。
- 3 音楽アプリまたはプログラムから、 または  を選択し、ステレオの名前を選択します。
- 4 必要に応じて、アプリで音楽を再生します。
ステレオが自動的に AirPlay ソースに変更され、Apple デバイスからオーディオが再生されます。
注意： Apple デバイスで、AirPlay 2 ソフトウェアを使用している場合、同じネットワーク上で複数のステレオに接続できます。
注意： Fusion PartyBus ネットワークを使用して、AirPlay ソースをネットワーク上の他のステレオにストリーミングすることはできません ([Fusion PartyBus ネットワーク, 15 ページ](#))。AirPlay 2 ソフトウェアを使用すると、ネットワーク上の複数のステレオでコンテンツを再生できますが、ステレオはグループ化できません。
注意： 一部の AirPlay デバイスでは、デバイス上で音量を調節するとステレオの音量レベルに影響します。

AirPlay パスワードを設定する

AirPlay 機能を使用してステレオに接続するときに、ユーザーが入力する必要があるパスワードを設定できます。

- 1  > **設定** > **ソース** > **AirPlay** > **AirPlay のパスワード** の順に選択します。
- 2 パスワードを入力します。

注意： AirPlay パスワードでは大文字と小文字が区別されます。

AirPlay 機能を使用してこのステレオに接続する場合、ユーザーは Apple デバイスでパスワードを入力する必要があります。

補助デバイスを接続する

さまざまな補助デバイスをステレオに接続できます。これらのデバイスには RCA コネクタ、ライン出力、またはヘッドフォン出力ジャックがあります。

- 1 配線ハーネスの補助コネクタを探します。
- 2 必要に応じて、RCA - 3.5mm アダプターケーブルを補助デバイスに接続します。
- 3 補助デバイスを配線ハーネスの AUX IN RCA コネクタに接続します。
- 4 **Aux** ソースを選択します。

オーディオリターンチャンネル

オーディオリターンチャンネル (ARC) を使用すると、ステレオシステムのスピーカーで HDMI テクノロジーを使用して、テレビやその他のソースからデジタルオーディオを再生できます。

HDMI バージョン 1.4 以降のケーブルは ARC をサポートします。ステレオの取り付けを計画する場合は、お使いのデバイスとケーブルが ARC をサポートしているかどうかを確認してください。ARC をサポートするデバイスの大半には、ARC をサポートする HDMI コネクタに ARC または eARC ラベルがあります。

ARC 経由でオーディオを出力するには、テレビやその他のソースの設定が必要な場合があります。このステレオは、ARC (eARC ではありません)、CEC 1.4、PCM ステレオオーディオをサポートしています。必要に応じて、ソースデバイスのマニュアルで設定手順を確認してください。

注意： ARC 機能を使用する場合、HDMI ケーブルの長さに制限があります。ソースがステレオから 5 m (16 ft) 以上離れている場合、必要な長さで ARC をサポートできることをケーブルメーカーに確認してください。

注意： Fusion PartyBus ネットワーク上でのストリーミングオーディオでは若干の遅延が生じるため、テレビや DVD プレーヤーからのストリーミングコンテンツは理想的でない場合があります。デフォルトでは、ARC ソースは、グループソース設定で無効になっています ([ソースの設定](#), 24 ページ)。

ヒント： 互換性のあるテレビでは、ARC ソースの使用時に、テレビのリモートコントロールを使用してステレオの音量を制御できます。

ARC (オーディオリターンチャンネル) ソースでの音声とビデオの同期の問題を修正する

ARC ソースのステレオの音声、ソースデバイスからのビデオと同期していないことがあります。遅延を調整してこれを修正できます。

- 1 任意のソースから、 > **設定** > **ソース** > **ARC 入力音声遅延**の順に選択します。
- 2 スライダーを調整して、音声とビデオが同期されるまで遅延を調整します。

DAB の再生

DAB 機能は、このステレオのヨーロッパモデルでのみ使用できます。

DAB 放送は、一部の地域ではご利用になれません。ステレオを対応地域に設定していない場合、DAB ソースはご利用になれません。

DAB ソースにアクセスできない場合、または DAB 放送局が正しく再生されない場合は、トラブルシューティングのセクションを参照してください。 ([ステレオは DAB 放送局を受信しません](#), 39 ページ)

チューナーの地域を設定する

DAB 放送局を正しく受信するには、所在している地域を選択する必要があります。

- 1  > **設定**の順に選択します。
- 2 **チューナーの地域**を選択します。
- 3 所在している地域を選択します。

DAB 放送局のスキャン

注意： DAB 信号は一部の国でのみ放送されているため、チューナーの地域を DAB 信号が放送されている場所に設定する必要があります。

DAB 信号が放送されているチューナー地域で DAB ソースに切り替えると、利用可能なアンサンブルや放送局にすでにアクセスできるようになっているはずです。最近場所を変更した場合、またはその他の設定を変更した場合は、DAB 放送局をスキャンして、現在地のアンサンブルおよび放送局の最新のリストを取得できます。

- 1 **DAB** ソースを選択します。
- 2  を長押しして、使用可能な DAB 放送局をスキャンします。
スキャンが完了すると、検出された最初のアンサンブルの 1 つ目の放送局の再生が開始されます。

DAB 放送局の変更

- 1 DAB ソースを選択します。
- 2  または  を選択すると、放送局を変更できます。
現在のアンサンプルの最後に到達したら、次のアンサンプルで利用できる 1 つ目の放送局に自動的に変更されます。
ヒント： または  を押し続けると、アンサンプルを変更できます。

DAB 放送局をリストから選択する

- 1 DAB ソースを選択します。
- 2  > DAB > 参照 > 放送局の順に選択します。
- 3 リストから放送局を選択します。

DAB 放送局をカテゴリから選択する

- 1 DAB ソースを選択します。
- 2  > DAB > 参照 > カテゴリの順に選択します。
- 3 リストからカテゴリを選択します。
- 4 リストから放送局を選択します。

プリセット

お気に入りの AM 放送局および FM 放送局をプリセットとして保存して、簡単にアクセスできるようにすることができます。

DAB アンテナがステレオの設定済みアンテナポートに接続されており、ステレオが正しいチューナーの地域に設定されている場合は、お気に入りの DAB 放送局を保存できます。(DAB の再生, 13 ページ)

放送局またはチャンネルをプリセットとして保存する

- 1 該当するソースを選択した状態で、ステレオを放送局またはチャンネルにチューニングします。
- 2 ダイヤルを長押しするか、 を選択し、 を選択します。
ヒント：AM、または FM ソースの場合、 を長押しして現在の放送局またはチャンネルをプリセットとして保存します。
ヒント：、ソース名、プリセット > 現在値の保存の順に選択して、現在の放送局またはチャンネルをプリセットとして保存することもできます。

プリセットをリストから選択する

- 1 該当するソースを選択した状態で、ダイヤルを長押しするか、 を選択します。
ヒント：、ソースの名前、プリセット > プリセットの表示の順に選択して、プリセットのリストを表示することもできます。
- 2 プリセットを選択します。

プリセットを削除する

- 1 該当するソースを選択した状態で、ダイヤルを長押しするか、 を選択します。
- 2  を選択します。
- 3 削除する各プリセット放送局またはチャンネルを選択します。
- 4 プリセットの削除が完了したら、 を選択します。
ヒント：、ソースの名前、プリセット > プリセットを削除またはすべてのプリセットを削除の順に選択して、プリセット放送局またはチャンネルを削除することもできます。
- 5 ダイヤルを押して画面を終了します。

Fusion PartyBus ネットワーク

Fusion PartyBus ネットワーク機能を使用すると、有線接続またはワイヤレス接続を組み合わせ、ネットワーク上の互換性のある複数のステレオを接続できます。

注意： Fusion ステレオを Garmin BlueNet™ ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続した場合は、Garmin および Fusion デバイスのみの使用に制限されます。このステレオでは、サードパーティー製のルーター、ストレージデバイス、またはその他のネットワーク製品を直接使用できない場合があります。

ヒント： ステレオが Garmin BlueNet ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続されている場合、接続されている Garmin チャートプロッターのワイヤレスアクセスポイントにモバイルデバイスを接続し、Fusion Audio アプリを使用してステレオを制御できます。

ステレオが Wi-Fi ネットワークに接続されている場合は、Garmin ネットワークを使用できません。

Fusion Apollo RA800 ステレオなどの互換性のあるステレオを、Fusion PartyBus ネットワークに接続された他の互換性のあるステレオとグループ化できます。グループ化されたステレオは、グループ内のすべてのステレオで利用可能なソースを共有し、メディア再生を制御できます。これにより、船舶全体でオーディオ体験を同期させることができます。ネットワーク上の互換性のあるステレオまたはリモートコントロールから、必要に応じてグループをすばやく作成、編集、および分割できます。

グループ化されているかどうかにかかわらず、互換性のあるステレオおよびリモートコントロールを使用して、ネットワーク上の任意のステレオで使用可能なスピーカーゾーンの音量を調整できます。

Fusion PartyBus ネットワークを構築するときは、ステレオに付属のインストール手順を参照してください。

ネットワーク上の最大 8 台の Fusion PartyBus ステレオをワイヤレスで接続できます。

グループの作成

グループを作成する前に、互換性のある複数のステレオを Fusion PartyBus ネットワークに接続する必要があります。ネットワークのインストールと設定の詳細については、ステレオに付属のインストールガイドを参照してください。

注意： ステレオをグループで使用する場合、いくつかの制限や他の注意事項があります。詳細については、「[グループ化されたステレオソースに関する注意事項, 16 ページ](#)」を参照してください。

1  > グループの順に選択します。

ヒント： どの画面でも  を長押しして、グループメニューを開くことができます。

2 グループ内のプライマリステレオにするステレオの名前を選択します。

3 グループに追加するステレオを選択します。

4 **完了**を選択します。

ソース画面から、Fusion Apollo SRX400 ステレオ、または Fusion PartyBus ネットワーク上の使用が有効になっていないソースなど、ゾーンステレオを除く、グループ内の任意のステレオからのソースを選択できます ([一般設定, 20 ページ](#))。

グループの編集

1  > グループの順に選択します。

2 グループを選択します。

3 グループに追加するステレオ、またはグループから削除するステレオを選択します。

4 **完了**を選択します。

グループから退出する

Fusion PartyBus グループを退出して、ステレオでローカルソースを再生できます。

1  > グループの順に選択します。

2 退出するグループを選択します。

3 グループから削除するステレオを選択します。

4 **完了**を選択します。

グループ化されたステレオ機能

ステレオのグループを作成すると、グループ内のすべてのステレオで、追加の機能とオプションが使用可能になります。

- グループを作成すると、グループ内のすべてのステレオで、1つの同期された表示が共有されます。
- グループ内の任意のステレオからソースを選択でき（ただし、いくつかの制限事項があります（[グループ化されたステレオソースに関する注意事項, 16 ページ](#)）、ソースはグループ内のすべてのステレオで同時に再生されます（[ソースを選択する, 4 ページ](#)）。
- グループ内の任意のステレオで再生の操作（トラックの一時停止やスキップなど）を行うことができ、その操作はグループ内のすべてのステレオに適用されます。
- グループ内の任意のステレオで、任意のゾーンの音量を調整できます。

ヒント： 音量を調整するときにすべてを選択すると、グループ内のすべてのステレオの音量を同時に調整できます。

グループ化されたステレオソースに関する注意事項

ネットワーク上で再生するソースを選択する場合は、次の注意事項を確認する必要があります。

- Fusion Apollo SRX400 などのゾーンステレオは、グループを作成または結合して、他のステレオからのソースを制御および再生できますが、そのソースをグループと共有することはできません。
- グループ化されたステレオと AirPlay ソースを共有することはできません。AirPlay 2 ソフトウェアを使用すると、ネットワーク上の複数のステレオでコンテンツを再生できますが、ステレオはグループ化できません（[Apple AirPlay, 12 ページ](#)）。
- ほとんどのソースで共有を無効にするには、ソースのグループが有効設定を変更します。無効にすると、グループ化されたステレオからのソースを選択できなくなります（[一般設定, 20 ページ](#)）。
- データネットワーク経由でオーディオソースをストリーミングする場合、同期されたオーディオにわずかな遅延が発生します。この遅延は、外部オーディオソースを使用している場合にも顕著になる場合があります。
 - ステレオと HDMI ARC（オーディオリターンチャンネル）接続されたテレビを使用しており、テレビのスピーカーを使用している場合、テレビのスピーカーからのオーディオとグループ化されたステレオでストリーミングされた光オーディオの間に遅延が発生します。
 - ラジオ局を同期し、ネットワーク接続されていないステレオで同じラジオ局を選局すると、ネットワーク接続されていないステレオからのオーディオと、グループ化されたステレオでストリーミングされたラジオ局からのオーディオの間に遅延が発生します。
 - この遅延をなくすには、ソースのグループが有効設定を変更します。ただし、ソースをグループ化したステレオと共有することはできません（[一般設定, 20 ページ](#)）。

注意： ステレオがグループの一部である場合は、設定を変更できません。設定を変更するには、ステレオをグループから削除する必要があります。

グループの同期化

デフォルトでは、グループ内のステレオをオフにしても、作成したグループは維持されません。グループに追加されている単一のステレオをオフにすると、それはグループから離脱します。グループ内のプライマリステレオをオフにすると、そのグループは解体されます。グループ同期を有効にすると、ステレオをオフにした後もグループメンバーシップを保持できます。グループ同期の動作は、ステレオのオン／オフの切り替え方法によって異なります。

- ステレオの電源ボタンまたはイグニッションワイヤー（赤いワイヤー）の物理的スイッチを使用して、同期化されたステレオの電源をオン／オフにすると、グループ内の同期化されたステレオすべてが同時にオン／オフになります。これは、そのステレオがグループ内のプライマリステレオであるかどうかにかかわらず、グループ内の同期されたすべてのステレオに適用されます。

注意： ステレオの電源メニューからすべてオフを選択すると、グループに属していない場合やグループ同期が有効になっている場合でも、ネットワーク上のすべてのステレオがオフになります。

- 同期化されたステレオのオン／オフを、電源ワイヤー（黄色のワイヤー）の物理的スイッチを使用して切り替えると、グループ内の他の同期化されたステレオは次のように異なった動作をします。
 - 同期されたステレオがグループ内のプライマリステレオである場合、それを電源ワイヤーの物理的スイッチを使用してオフにすると、グループ内の他の同期されたステレオはオンのままグループから離脱します。プライマリステレオの電源を再びオンにすると、同期された他のステレオはグループに再加入します。
 - 同期されたステレオがグループ内のプライマリステレオではない場合、それを電源ケーブルの物理的スイッチを使用してオフにしても、グループ内の他の同期されたステレオはすべてオンでありグループ化されたままです。再びオンにすると、そのステレオはグループに再加入します。

グループ同期を有効にする

グループ同期設定を有効にする前に、既存のグループからステレオを削除する必要があります。ステレオがグループの一部である場合は、設定を更新できません。

この設定は、電源を入れ直した後もグループ設定を保持するようにしたい各ステレオで有効にする必要があります。

1  > 設定の順に選択します。

2 **電源オプション** > **グループ同期**の順に選択します。

このステレオでは、電源を入れ直してもグループ設定が保持されます。

3 必要に応じて、別のステレオについてもこの手順を繰り返します。

注意： 同期を正しく機能させるには、すべてのネットワークステレオでグループ同期を有効にする必要があります。

LED 照明コントロール

⚠ 警告

一部の LED 照明効果を設定したり、音楽に反応するように LED ライトを設定したりすると、さまざまな間隔でライトが点滅する場合があります。てんかんをお持ちの場合、または強い光や点滅する光に敏感な場合は、医師にご相談ください。

注意

ステレオを使用して接続されているライトを制御するには、まず、照明コントローラおよびステレオと同じ NMEA 2000 ネットワーク上にある互換性のあるチャートプロッターを使用してライトを初期化する必要があります。初期化手順については、Garmin Spectra™照明コントローラのインストールガイド、またはチャートプロッターのマニュアルを参照してください。互換性のあるチャートプロッターが接続されていない場合は、モバイルデバイスの ActiveCaptain®アプリを使用してライトを初期化することもできます。

船舶で特定の LED の色（赤色や緑色など）を使用すると、船舶用ナビゲーションライトの使用や操作に関する法律、規制、規格に違反する可能性があります。適用される法律、規制、および規格を遵守することは、ユーザーの責任となります。Garmin は、遵守の欠如に起因する罰金、罰則、出頭命令、または損害については一切責任を負いません。

Garmin Spectra 照明コントローラを取り付けている場合は、ステレオを使用して、接続されている LED ライトで一部の機能を作動または変更することができます。LED ライトのオン/オフ、事前にプログラムされた照明効果の選択、保存されたシーンのアクティブ化、音に同期を使用して、ステレオで再生される音楽に合わせて色と輝度が変わるようにライトを設定できます。必要に応じて、ActiveCaptain アプリを使用するか、照明コントローラおよびステレオと同じ NMEA 2000 ネットワークおよび船舶ネットワーク上の互換性のあるチャートプロッターを使用して、より高度なライトの制御および設定を実行できます。完全な手順については、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

LED ライトのオン/オフの切り替え

- 1  > LED の制御を選択します。
- 2 ライトを選択し、オン/オフするライトまたはライトグループを選択します。
- 3 オンを選択して、ライトをオンにします。
- 4 再度オンを選択して、ライトをオフにします。

LED ライト効果をオンにする

⚠ 警告

一部の LED ライト効果を選択すると、さまざまな間隔でライトが点滅する場合があります。てんかんをお持ちの場合、または強い光や点滅する光に敏感な場合は、医師にご相談ください。

Garmin Spectra 照明コントローラには、あらかじめプログラムされている照明効果があり、ステレオを使用してオンにできます。

- 1  > LED の制御を選択します。
- 2 ライトを選択し、照明効果を使用するライトまたはライトグループを選択します。
- 3 効果を選択し、あらかじめプログラムされている照明効果のいずれかを選択して、接続されているライトで効果を開始します。

LED ライトシーンの開始

注意

ステレオを使用して LED ライトシーンを開始する前に、接続されているチャートプロッターを使用して少なくとも 1 つのシーンを作成する必要があります。完全な手順については、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

- 1  > LED の制御 > シーンを選択します。
以前に作成されたシーンのリストが表示されます。
- 2 開始するシーンを選択します。

音楽に反応するように LED ライトを設定する

⚠ 警告

LED ライトを音楽に反応するように設定すると、さまざまな間隔でライトが点滅することがあります。てんかんをお持ちの場合、または強い光や点滅する光に敏感な場合は、医師にご相談ください。

注意

接続されている LED ライトがステレオで再生された音楽に反応するように設定するには、接続されているチャートプロッターを使用して、ライトまたはライトグループをこのステレオのオーディオゾーンに関連付ける必要があります。完全な手順については、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

- 1  > **LED の制御**を選択します。
- 2 **ライト**を選択し、音楽に反応するように設定するライトまたはライトグループを選択します。
- 3 **音に同期**を選択し、次のオプションを選択します。
 - 再生中の音楽の強度にライトを反応させるには、**カラーブレンド**を選択します。
 - 再生中の音楽の低音と高音にライトを反応させるには、**オーディオスペクトル**を選択します。

この機能で使用する色を変更するには、接続されているチャートプロッターを使用する必要があります。完全な手順については、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

LED ライトの制御と設定 (ActiveCaptain アプリを使用)

ActiveCaptain アプリを使用してモバイルデバイスをステレオに接続し、Garmin SpectraLED コントロールモジュールに接続されたライトを設定および制御できます。ステレオおよび LED コントロールモジュールが、互換性のあるチャートプロッターと同じ NMEA 2000 ネットワークに接続されている場合は、ActiveCaptain アプリをステレオではなくチャートプロッターに接続する必要があります。これにより、照明コントロールに加え、アプリに含まれるすべての機能を使用できるようになります。手順については、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

注意： モバイルデバイスをステレオに接続する前に、ステレオをワイヤレスアクセスポイントとして機能するように設定するか、イーサネットケーブルを使用してステレオをワイヤレスルーターに接続する必要があります。

ActiveCaptain アプリの操作手順

ActiveCaptain アプリを使用して、モバイルデバイスをステレオに接続できます。アプリを使用すると、Garmin Spectra LED コントロールモジュールに接続されたライトをすばやく簡単に設定して操作できます。

- 1 必要に応じて、ステレオを Wi-Fi アクセスポイント ([Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する, 26 ページ](#))として設定するか、イーサネットケーブルを使用してステレオをワイヤレスルーターに接続します。
- 2 モバイルデバイスのアプリケーションストアから、ActiveCaptain アプリをインストールして開きます。

ヒント： モバイルデバイスを使用してこの QR コードをスキャンし、アプリをダウンロードできます。
- 3 ActiveCaptain アカウントを使用して、Garmin アプリにログインします。
- 4 モバイルデバイスをステレオまたはワイヤレスルーターの 32 m (105 ft.)以内に近づけます。
- 5 ActiveCaptain アプリで、**接続**を選択します。
- 6 ステレオまたはワイヤレスルーターの SSID を選択し、必要に応じてパスワードを入力します。

アプリがワイヤレスネットワークに接続され、メイン画面に戻ります。

アプリがワイヤレスルーターまたはステレオに正しく接続されると、ボートアプリタブに照明のオプションが表示されます。



接続済みの LED ライトの初期化 (ActiveCaptain アプリを使用)

ステレオを使用して接続済み LED ライトを操作するには、最初に、接続済みの LED がサポートしている光源タイプに関する情報を入力してライトを初期化する必要があります。

- 1 必要に応じて、ActiveCaptain アプリを開き、ステレオまたはワイヤレスルーターに接続します。
- 2 ActiveCaptain アプリで、**設定 > 照明**を選択します。
接続されている LED コントロールモジュールのリストが表示されます。
- 3 初期化する LED ライトが接続されている LED コントロールモジュールを選択し、**ライト**を選択します。
使用可能なすべてのライトのリストが表示されます。黄色の円が付いているライトは、システムで使用する前に初期化する必要があります。
- 4 リストから、接続されている LED ライトを選択します。
- 5 **ライトのタイプ**を選択し、接続されている LED のタイプを選択します：
 - **RGB**：接続されている調光 LED は全範囲の色をサポートします。
 - **RGBW**：接続されている調光 LED は全範囲の色と高品質な白色光をサポートします。
 - **CRGBW**：接続されている調光 LED は全範囲の色と複数の色温度の白色光をサポートします。
 - **シングルチャンネル**：この調光 LED は 1 つの専用色をサポートします。**ヒント**：識別を選択すると、選択中のライトが点灯します。これにより、選択中の LED のタイプを識別したりテストしたりすることができます。
- 6 目的の LED ライトがすべて初期化されるまで、接続されているすべてのライトに対してこの手順を繰り返します。

一般設定

注意：ステレオがグループ内にある場合は、そのステレオで設定を変更することはできません。

 **> 設定**の順に選択します。

注意：チェックボックスにチェックが入っているとき、オプションはオンです。チェックボックスにチェックが入っていないとき、オプションはオフです。

デバイス名：このデバイスの名前を設定します。

言語：デバイスで使用する言語を設定します。

チューナーの地域：FM と AM のソースで使用する地域を設定します。

この設定は、DAB ソースを設定する場合にも必要です。

テレミュートの設定：ワイヤーハーネス内の TELEMUTE ケーブルで信号を検出したときのステレオの動作を設定します。これは通常、Fusion ハンドヘルドマイクのボタンを押したまま Aux1 ソースに変更するために使用されます。また、ハンズフリー携帯電話キットに接続されている場合は、オーディオをミュートするか、Aux1 ソースに変更するかを選択できます。詳細については、Fusion ハンドヘルドマイクまたはハンズフリー携帯電話キットの指示を参照してください。

注意：この設定は、Bluetooth テクノロジーを使用してステレオに接続されている電話には影響しません。

電源オプション：グループ同期などの電力設定を調整します ([電源オプション, 24 ページ](#))。

検索：Fusion Alpha Search Technology (FAST) を有効にします。トラックを文字または数字ですばやく検索できるようにします。FAST メニューを有効にする数字を選択して、選択した数を超えるアイテムが音楽デバイスに含まれている場合にこのメニューを有効にできます。

ゾーン：スピーカーゾーンを構成できます ([スピーカーゾーンの設定, 21 ページ](#))。

ソース：ステレオ上のソースおよびグループを有効/無効にしたり、名前を指定したりすることができます ([ソースの設定, 24 ページ](#))。

ネットワーク：Fusion PartyBus ネットワーク設定を構成できます ([ネットワークの設定, 25 ページ](#))。

更新：接続されている USB フラッシュドライブ上の適切な更新ファイルを使用して、ステレオまたは接続されているデバイスを更新します ([更新オプション, 31 ページ](#))。

注意：USB フラッシュドライブにロードされた更新ファイルを使用せずに、モバイルデバイスの Fusion Audio アプリを使用してソフトウェアを更新する場合、このメニューを使用する必要はありません ([Fusion Audio アプリを使用したソフトウェアの更新, 37 ページ](#))。

更新 > 工場出荷時の設定にリセット: すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

バージョン情報: ステレオおよび接続されているアクセサリのソフトウェアバージョン情報を表示します。

スピーカーゾーンの設定

内蔵アンプを無効にする

スピーカーを直接ゾーン 1 とゾーン 2 に接続しない場合は、内蔵アンプを無効にすると消費電力を削減できます。

- 1  > **設定**の順に選択します。
- 2 **ゾーン**を選択します。
- 3 **内部アンプオン**を選択して、チェックボックスをオフにします。

ホームゾーンの設定

ホームゾーンは、ダイヤルを回したときにデフォルトで調整されるスピーカーゾーンです。

- 1  > **設定**の順に選択します。
- 2 **ゾーン > ホームゾーンを割り当てます**を選択します。
- 3 **ゾーン**を選択します。

ソースとゾーンの音量レベルを同期する

1 つまたはすべてのゾーンの音量レベルを、Bluetooth、AirPlay、または ARC ソースなどのソースデバイスと同期できます。

- 1  > **設定**の順に選択します。
- 2 **ゾーン**を選択します。
- 3 次のオプションを選択します：
 - ボリュームを Bluetooth または AirPlay ソースデバイスと同期するには、**スマートフォンのボリュームを同期**を選択します。
 - ボリュームを **ARC** ソースデバイスと同期するには、**HDMI ボリューム同期**を選択します。
- 4 **ゾーン**または**すべて**を選択します。

接続されているソースの音量を調整すると、選択したゾーンの音量も調整されます。

電源オン音量制限を調整する

デフォルトでは、ステレオをオンにしたとき、オフにしたときよりも音量が大きくなっている場合、音量が自動的にレベル 12 に下げられます。ステレオをオンにしたとき、それよりも大きい音量を維持したい場合、またはそれよりも小さい音量に制限したい場合は、この制限を調整できます。

注意： この設定は、ステレオのすべてのゾーンに適用されます。

- 1  > **設定**の順に選択します。
- 2 **ゾーン > 電源オン音量制限**の順に選択します。
- 3 音量制限を調整します。

個々のゾーンの音量レベルを維持する

個々のゾーンの音量レベルを調整して、一部のゾーンの音量が他のゾーンよりも大きくなるようにした場合、すべてのゾーンの音量を調整すると、個々のゾーンの音量設定がすべて影響を受けます。デフォルトでは、すべてのゾーンの音量を 00 に調整すると、すべてのゾーンの音量レベルのセットが 00 になり、個々のゾーンの音量調整がすべてリセットされます。音量比を維持オプションを有効にすると、すべての音量を 00 に調整したとき、個々のゾーンの音量調整を保持できます。

注意： この設定は、ステレオまたは接続されている ERX リモコンの音量調整にのみ適用されます。接続されているチャートプロッターまたは NRX リモコンを使用してステレオの音量を調整しても、音量レベルはリセットされます。

ヒント： この設定を有効にした場合に最適な結果を得るには、電源投入時の音量制限を 24 に設定する必要があります (電源オン音量制限を調整する, 21 ページ)。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ゾーン > 音量比を維持を選択します。

速度に基づく自動音量調整を有効にする

- 1  > 設定 > ゾーン > 速度と音量の比率 > 有効の順に選択します。
- 2 必要に応じて、設定を更新して速度ソースを選択します (自動音量調節設定, 22 ページ)。

自動音量調節設定

 > 設定 > ゾーン > 速度と音量の比率を選択します。

有効: 自動音量調節機能を有効にします。

速度ソース: 速度を決定するためにステレオが使用するソースを設定します (速度ソース情報, 22 ページ)。

最高/最低速度: 選択した速度ソースの予想される最高および最低速度の範囲を設定します。最小設定は、ダイヤルを回して設定したレベルで音量が再生される速度を示します。最大設定は、音量を上げる設定で設定された最大レベルで音量が再生される速度を示します。

ヒント： これらの値は、エンジンまたはセンサーから通常予想される速度で設定し、必要に応じて調整する必要があります。

音量を上げる: 選択した速度ソースが最高/最低速度設定で設定された最高速度に達したときの、各ゾーンの合計音量増加を設定します。このレベルを高く設定するほど、設定された最高速度に近づくときの音量が大きくなります。

注意： 速度に合わせて音量が上がるとき、実際の音量出力は変化しますが、音量レベルインジケータバーと数字は変化しません。

カスタムユニット: 船舶の速度または風速を示すために使用する測定単位を変更します。

速度ソース情報

 > 設定 > ゾーン > 速度と音量の比率 > 速度ソースの順に選択します。

エンジン回転数: サポートされている NMEA 2000 エンジンが提供する RPM 読み取り値を使用します。設定された最小速度から設定された最大速度までエンジン回転数が上昇するのに従い、音量が増加します。サポートされている複数のエンジンが接続されている場合、ステレオはすべてのエンジン RPM 読み取り値の平均値を使用します。

SOG: サポートされている NMEA 2000 GPS アンテナまたは内蔵 GPS アンテナ付きチャートプロッターが提供する、対地速度 (SOG) 読み取り値を使用します。設定された最小速度から設定された最大速度まで SOG が上昇するのに従い、音量が増加します。

SOG: サポートされている NMEA 2000 航行スピードセンサーによって提供される対水速力 (STW) の読み取り値を使用します。設定された最小速度から設定された最大速度まで STW が上昇するのに従い、音量が増加します。

風速: サポートされている NMEA 2000 風速センサーが提供する風速の読み取り値を使用します。設定された最小速度から設定された最大速度まで風速が上昇するのに従い、音量が増加します。

ゾーンを無効にする

未使用のゾーンを無効にして、オーディオレベルのページから削除できます。ゾーンが無効になっていると、そのゾーンの設定を変更することはできません。ゾーン 1 を無効にすることはできません。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 ゾーンを選択します。
- 4 有効なゾーンを選択して、チェックボックスをオフにします。

ゾーン名を設定する

スピーカーゾーンに名前を設定して、見分けやすくすることができます。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 ゾーンを選択します。
- 4 ゾーン名を選択し、オプションを選択します：
 - リストから定義済みの名前を選択します。
 - カスタム名を選択し、ゾーンに一意の名前を入力します。

ゾーンをリンクする

ゾーン 1 と 2 をリンクして、音量レベルを同期したままにすることができます。リンクしたゾーンのどちらかの音量を調整すると、両方のゾーンの音量に影響が及びます。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ゾーン > ゾーン 2 > ゾーン 1 へリンクを選択します。

注意：ゾーン 1 と 2 をリンクした後は、各ゾーンの音量を別々に調整することはできません。

ゾーン 3 または 4 の音量調節を接続されたアンプからできるようにする

デフォルトでは、ゾーン 3 と 4 の音量はステレオによって制御されます。接続されたアンプを使用しても、これらのゾーンの音量を制御できます。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 ゾーン 3 またはゾーン 4 を選択します。
- 4 音量調節を選択して、チェックボックスをオフにします。

ゾーンからのオーディオ信号は、固定ラインレベル出力として最大音量でアンプに送信されます。

サブウーファーフィルタを調整する

サブウーファーフィルタ設定を使用して、各ゾーンのサブウーファーのカットオフ周波数を制御できます。これにより、スピーカーとサブウーファーによって作り出されるサウンドの融合を増進できます。選択した周波数を超えるオーディオ信号はサブウーファーに送られません。

注意：Fusion Audio アプリを使用して DSP 設定がゾーンに適用されている場合、この設定をステレオで変更することはできません。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 ゾーンを選択します。
- 4 %1 のサブ周波数を選択します。
- 5 周波数を選択します。

ゾーンの追加のオーディオ設定を調整する

1  > **設定**の順に選択します。

2 **ゾーン**を選択します。

3 **ゾーン**を選択します。

4 オプションを選択します（複数可）。

- このゾーンの最大出力音量を制限するには、**ボリューム制限**を選択してレベルを調整します。
- このゾーンの左右のスピーカーバランスを調整するには、**バランス**を選択してバランスを調整します。
- このゾーンに関連付けられている外部アンプへの出力を減らすには、**外部アンプゲイン**を選択し、ゲインレベルを調整します。
- このゾーンに関連付けられている内部アンプへの出力を減らすには、**内部アンプゲイン**を選択し、ゲインレベルを調整します。

注意： この設定は、内部アンプに関連付けられたゾーンでのみ使用できます（通常、ゾーン 1 とゾーン 2）。

- このゾーンの出力をステレオからモノラルに変更するには、**モノラル**を選択します。

注意： モノラル設定は、聴く位置が他のスピーカーよりも特定のスピーカーに近く、そのチャンネルだけが主に聞こえる場合に便利です。モノラル設定では、ゾーン内の各スピーカーの両方のチャンネルが結合されます。

電源オプション

 > **設定** > **電源オプション**の順に選択します。

節電： バッテリー電力を節約するため、1 分間何もしないと LCD バックライトはオフになります。

グループ同期： 電源を入れ直した後もグループ設定を保持するようにステレオを有効にします（[グループの同期化](#), 17 ページ）。

ジェスチャー画面： メディアの再生時に再生コントロールを非表示にして、トラック情報とジャケットのみを画面に表示します（[ジェスチャー画面](#), 2 ページ）。

ソースの設定

 > **設定** > **ソース**の順に選択し、設定するソースの名前を選択します。

注意： このメニューには、システム全体のソースの設定が含まれています。ほとんどのソースには、ソース固有の設定もあります。ソース固有の設定の詳細については、このマニュアルの、各ソースのセクションを参照してください。

ステレオのすべてのソースで、すべてのオプションを使用できるわけではありません。

ソースが有効： このステレオのソースを有効または無効にします。ソース選択の画面に表示されないように、ステレオで使用しないソースを無効にできます。

グループが有効： ソースがグループ内の他のステレオに接続されている場合に、ソースの共有を有効または無効にします（[Fusion PartyBus ネットワーク](#), 15 ページ）。BLUETOOTH など、一部のソースの共有は無効にしてください。Fusion PartyBus ネットワーク経由のストリーミングによりわずかなオーディオ遅延が生じて、状況によっては望ましくないためです。

ソース名： このステレオで表示される、ソースの名前を変更します。これは、グループ内の他のステレオにどのようにソースが表示されるかにも影響します。

DAB および FM アンテナ用のアンテナポートの設定

注意：これらの手順はヨーロッパのモデルにのみ適用されます。DAB 放送局はヨーロッパの一部の地域でのみ放送されるため、すべてのモデルがこの機能をサポートしているわけではありません。

ステレオには 2 つのアンテナポートがあり、アンテナのコネクタのタイプに応じて、DAB アンテナと FM アンテナをどちらかに接続できます。アンテナを接続した後、アンテナを正しく使用するようにステレオを設定する必要があります。

- 1  > **設定** > **ソース** > **DAB** の順に選択します。
- 2 次のオプションを選択します：
 - DAB アンテナ用のアンテナポートを設定するには、**DAB アンテナ**を選択します。
 - FM アンテナ用のアンテナポートを設定するには、**FM アンテナ**を選択します。
- 3 アンテナを接続したアンテナポートを選択します。
- 4 必要に応じて他のアンテナについても、この手順を繰り返します。
- 5 接続されたアンテナにステレオからの電力が必要な場合、 > **設定** > **ソース** > **DAB** の順に選択し、アンテナを接続したポートに応じて、**アンテナ 1 電源**または**アンテナ 2 電源**を選択します（オプション）。

ネットワークの設定

注意：Garmin チャートプロッターがネットワーク上で検出されると、ステレオは自動的に Garmin® Marine Network モードに切り替わり、その他のすべてのネットワーク設定は無効になります。

ヒント：任意の画面でネットワークステータスアイコンを選択すると、[ネットワーク設定] メニューを開くことができます。

 > **設定** > **ネットワーク** の順に選択します。

Wi-Fi オフ：すべての Wi-Fi ワイヤレス機能をオフにします。

Wi-Fi クライアント：ステレオをワイヤレスクライアントとして設定し、他のデバイスにワイヤレスで接続できるようにします。

Wi-Fi アクセスポイント：ステレオをワイヤレスアクセスポイントとして設定します (Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する, 26 ページ)。

詳細：DHCP や SSID など、ワイヤレスおよび有線の詳細な設定ができます (高度なネットワーク設定, 27 ページ)。

リセット：このステレオのすべてのネットワーク設定を工場出荷時の初期設定値にリセットします。

Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントに接続する

このデバイスは、ルーター上のワイヤレスアクセスポイント、またはネットワーク上の互換性のある Fusion PartyBus デバイスに接続できます。このデバイスは、アクセスポイントでサポートされている場合、Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使用して接続できます (Wi-Fi Protected Setup を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続, 26 ページ)。このデバイスは、対応する Apple デバイスを使用した Apple アクセサリ構成 (WAC) を使用して接続できます (Apple ワイヤレスアクセサリ構成を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続, 26 ページ)。

- 1  > **設定** > **ネットワーク** > **Wi-Fi クライアント** > **SSID** の順に選択します。
範囲内のワイヤレスアクセスポイントのリストが表示されます。
- 2 Fusion PartyBus ワイヤレスアクセスポイントを選択します。
- 3 必要に応じて、**パスワード**を選択して、パスワードを入力し、 を選択します。
- 4 **保存**を選択します。

注意：ステレオをワイヤレスアクセスポイントに接続した後は、有線ネットワーク接続を使用できません。

Wi-Fi Protected Setup を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続

ワイヤレスアクセスポイントでサポートされている場合、手動で SSID を選択してパスワードを入力する代わりに、Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使用してこのデバイスを接続できます。

注意：WPS を有効にする方法については、ワイヤレスアクセスポイントのマニュアルを参照してください。

1  > 設定 > ネットワーク > Wi-Fi クライアント > WPS の順に選択します。

2 ワイヤレスアクセスポイントで WPS 接続を有効にします。

注意：ステレオをワイヤレスアクセスポイントに接続する場合、有線ネットワーク接続は使用できません。

Apple ワイヤレスアクセサリ構成を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続

Apple デバイスでサポートされている場合、SSID を手動で選択してパスワードを入力する代わりに、ワイヤレスアクセサリ構成 (WAC) を使用してこのデバイスを接続できます。

注意：WAC を使用する方法については、Apple デバイスのマニュアルを参照してください。

1  > 設定 > ネットワーク > Wi-Fi クライアント > WAC の順に選択します。

2 接続を完了するには、互換性のある Apple デバイスを使用します。

注意：ステレオをワイヤレスアクセスポイントに接続する場合、有線ネットワーク接続は使用できません。

Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する

追加の Fusion PartyBus デバイスまたはスマートフォンを無線で Fusion PartyBus デバイスに接続する前に、1 台のデバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する必要があります。ネットワークにワイヤレスルーターまたは他のワイヤレスアクセスポイントを設定した場合、これは必要ありません。

注意

ネットワークにルーターがインストールされている場合は、このデバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定しないでください。これを行うと、DHCP の競合が発生し、ネットワークパフォーマンスが低下する可能性があります。

1  > 設定 > ネットワーク > Wi-Fi アクセスポイントの順に選択します。

2 次のオプションを選択します：

- 工場出荷時に割り当てられたデフォルトのアクセスポイント設定を使用するには、**初期設定を使用**を選択し、デバイスがネットワーク設定を保存するまで待ちます。

注意：デフォルト設定を保存したら、**ネットワークメニュー**の一番下までスクロールして、アクセスポイントに割り当てられているデフォルトの SSID を表示できます。

- アクセスポイントの名前とセキュリティ設定をカスタマイズするには、**詳細 > WI-FI AP SETTINGS** を選択して、次の手順に進みます。

3 **SSID** を選択して、ワイヤレスアクセスポイントのデフォルトの SSID または名前を変更します。

4 **AP セキュリティ：%1** を選択して、アクセスポイントのセキュリティタイプを変更します。

注意：最も安全なプロトコルである WPA3 パーソナル AP セキュリティ：%1 設定を使用することを強くお勧めします。他のデバイスで接続の問題が発生した場合は、最も広く使用されているワイヤレスセキュリティプロトコルである WPA2 パーソナルを代わりに使用する必要があります。

5 **パスワード** を選択して、アクセスポイントのデフォルトのパスワードを変更します。

6 必要に応じて、**国名：%1** を選択して、お住いの地域を選択します。

7 **チャンネル：%1** を選択して、アクセスポイントのチャンネル範囲を選択します (オプション)。

8 **保存** を選択します。

ワイヤレスアクセスポイントの設定はいつでも調整できます ([ワイヤレスアクセスポイントの設定, 27 ページ](#))。

注意：ステレオをワイヤレスアクセスポイントとして設定する場合、追加の設定を変更せずに有線ネットワーク接続を使用することもできます。有線ネットワークとワイヤレスネットワークはブリッジされます。

ワイヤレスアクセスポイントの設定

 > 設定 > ネットワーク > 詳細 > Wi-Fi アクセスポイントの順に選択します。

注意： 設定を変更するには、デバイスをワイヤレスアクセスポイントに設定する必要があります ([Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する, 26 ページ](#))。

SSID: ネットワークの SSID (名前) を設定します。

AP セキュリティ： %1: アクセスポイントで使用するワイヤレスセキュリティプロトコルのタイプを設定します。

注意： WPA2 パーソナルを使用して AP セキュリティ：%1 を設定することを強くお勧めします。これは最も一般的に使用されている安全なワイヤレスセキュリティプロトコルです。

パスワード: アクセスポイントのパスワードを設定します。AP セキュリティ：%1 設定がなしに設定されている場合は使用できません。

国名： %1: ステレオが配置されている地域を設定します。地域によっては、ワイヤレススペクトル上の異なるチャンネルを使用する場合があるため、ローカルのワイヤレスデバイスと最適に対応するように設定してください。

チャンネル： %1: お住まいの地域で使用可能なスペクトルの高範囲、低範囲、または中範囲にあるチャンネルのグループを使用するようアクセスポイントを設定します。ブロードキャストアクセスポイントの数が少ない範囲にチャンネルを設定すると、パフォーマンスが向上する場合があります。

DHCP サーバー: デバイスをワイヤレスアクセスポイントやネットワーク上の DHCP サーバーとして機能するように設定します ([DHCP 設定, 28 ページ](#))。

WPS: Wi-Fi Protected Setup (WPS) 接続を開始します。WPS ボタンまたは設定のあるデバイスは、WPS 接続が有効になると、このステレオのアクセスポイントに接続できます。

注意： WPS を選択した後、アクセスポイントに接続するまで最大 2 分かかる場合があります。

高度なネットワーク設定

DHCP 範囲の定義や静的 IP アドレスの設定など、Fusion PartyBus デバイスでは高度なネットワークタスクを実行できます。

注意： イーサネット経由で Garmin Marine Network に接続し、DHCP クライアントとして構成すると、ステレオは自動的に Garmin Marine Network を検出して接続します。

 > 設定 > ネットワーク > 詳細の順に選択します。

DHCP クライアント: デバイスを DHCP クライアントとして設定します。これは、DHCP サーバーまたはワイヤレスアクセスポイントとして設定されていないすべてのデバイスのデフォルト設定です。

静的 IP: デバイスの静的 IP アドレスを設定できます ([静的 IP アドレスを設定する, 30 ページ](#))。

詳細: ネットワーク構成に関する情報を表示します。

Fusion PartyBus デバイスを DHCP サーバーとして設定する

ネットワークスイッチまたはワイヤレスアクセスポイントを使用して 2 台以上のネットワークデバイスを接続したが、ルーターを設置していない場合は、1 台の Fusion PartyBus ステレオだけを DHCP サーバーとして設定する必要があります。

注意

ネットワーク上に複数の DHCP サーバーが存在すると、ネットワーク上のすべてのデバイスが不安定になり、パフォーマンスが低下します。

注意： このステレオを Wi-Fi アクセスポイントとして設定している場合、デフォルトでは 1 台の DHCP サーバーとして設定されており、設定を変更する必要はありません (Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する, 26 ページ)。

注意： Fusion PartyBus デバイスは、ネットワーク上で DHCP サーバーなしで相互に通信できますが、最初に電源をオンにしたときに、デバイス同士の接続に時間がかかります。最良の結果を得るため、1 台の適切に設定された DHCP サーバーをネットワーク上に配置することを強くお勧めします。

- 1 デバイスがイーサネットケーブルを使用してネットワークに接続されている場合、 > **設定** > **ネットワーク** > **Wi-Fi オフ** の順に選択します。

ステレオを有線 DHCP サーバーとして設定する前に、Wi-Fi をオフにする必要があります。

- 2 デバイスがイーサネットケーブルを使用してネットワークに接続されている場合、**静的 IP** > **保存** の順に選択します。

静的 IP アドレスを使用するようにステレオを設定してから、有線 DHCP サーバーとして設定する必要があります。

- 3 **詳細** > **DHCP サーバー** > **DHCP 有効** > **保存** の順に選択します。

DHCP サーバーの IP アドレス範囲を構成できます (DHCP 設定, 28 ページ)。

DHCP 設定

 > **設定** > **ネットワーク** > **詳細** > **DHCP サーバー** の順に選択します。

DHCP 有効: デバイスをネットワーク上の DHCP サーバーとして設定します。

開始 IP : %1: DHCP サーバーの IP アドレス範囲の最初の IP アドレスを設定します。

終了 IP : %1: DHCP サーバーの IP アドレス範囲の最後の IP アドレスを設定します。

Garmin ネットワークへのステレオの接続

注意：ステレオを Garmin BlueNet ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続した場合は、Garmin および Fusion デバイスのみの使用に制限されます。このステレオでは、サードパーティー製のルーターまたはその他のネットワーク製品を直接使用できません。

有線ネットワーク接続を使用して Garmin チャートプロッターに接続されているときに、Wi-Fi ネットワークを使用して Garmin チャートプロッターに接続したり、Wi-Fi ネットワークをステレオで使用したりすることはできません。

互換性のある Garmin BlueNet チャートプロッターを使用してステレオを表示および制御するために、このステレオを Garmin ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続できます。

注意：Garmin チャートプロッターがネットワーク上で検出されると、ステレオは自動的に Garmin® Marine Network モードに切り替わり、ステレオが再起動して、ステレオのすべてのネットワーク設定が無効になります。これが自動的に行われない場合は、ステレオネットワーク設定をリセットして再度接続します ([ネットワーク設定をリセットする, 30 ページ](#))。それでも自動的にリセットされない場合は、ステレオを工場出荷時の設定にリセットして、再度接続してください。

このステレオは、Garmin BlueNet デバイスと Garmin Marine Network デバイスの両方に対応しています。ステレオはどちらのタイプのネットワークにも接続できますが、複数のステレオがある場合は、すべてを 1 つのネットワークタイプまたは別のネットワークタイプに接続する必要があります。

注意：船舶に Garmin BlueNet ブリッジを介して接続された Garmin Marine Network と Garmin BlueNet ネットワークが混在している場合は、最高のパフォーマンスを得るために、すべてのステレオが Garmin BlueNet ネットワークに接続されている必要があります。

Garmin BlueNet テクノロジーに関する詳細 (Garmin BlueNet デバイスと Garmin Marine Network デバイスの両方を含むネットワークを構築するためのベストプラクティスなど) については、garmin.com/manuals/bluenet を参照してください。

ヒント：ステレオが Garmin ネットワークに接続されている場合、接続されている Garmin チャートプロッターのワイヤレスアクセスポイントにモバイルデバイスを接続し、Fusion Audio アプリを使用してステレオを制御できます。

- 1 ステレオを接続するのに最適な Garmin BlueNet ネットワークまたは Garmin Marine Network 上のデバイスを特定します。
- 2 次のオプションを選択します：
 - ステレオを Garmin BlueNet デバイ스에接続するには、Garmin BlueNet ケーブル（別売）を使用します。
 - ステレオを Garmin Marine Network デバイ스에接続するには、Garmin Marine Network - Garmin BlueNet ネットワークアダプタケーブル（010-12531-11 または 010-13094-00、別売）を使用します。

静的 IP アドレスを設定する

ステレオが DHCP サーバーとして構成されると、自動的に IP アドレス 192.168.0.1 が割り当てられます。この IP アドレスは変更できます。

ステレオがネットワーク上のクライアントであり、DHCP サーバーがステレオに IP アドレスを自動的に割り当てないようにする場合は、静的 IP アドレスを設定します。

注意：ネットワーク上のすべてのデバイスに固有の IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上の IP アドレスと同じ静的 IP アドレスを選択すると、デバイスは正常に動作しません。

1  > **設定** > **ネットワーク** > **詳細**の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ステレオがイーサネットケーブルを使用して接続されている場合は、**イーサネット IP** > **静的 IP** の順に選択します。
- ステレオがワイヤレスアクセスポイントまたはワイヤレスクライアントとして設定されている場合は、**Wi-Fi IP** を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- IP アドレスを設定するには、**IP** を選択して IP アドレスを入力します。
- サブネットマスクを設定するには、**マスク：%1** を選択し、サブネットマスクを入力します。
注意：サブネットマスクは、正しく機能するため、ネットワーク上の他のすべてのデバイスと一致しなければなりません。一般的なサブネットマスクは 255.255.255.0 です。
- デフォルトゲートウェイ IP アドレスを設定するには、**ゲートウェイ**を選択してゲートウェイ IP アドレスを入力します。
注意：デフォルトゲートウェイは通常、ネットワーク上の DHCP サーバーの IP アドレスとして設定します。

4 **保存**を選択します。

ネットワーク設定をリセットする

このステレオのすべてのネットワーク設定を工場出荷時の初期設定にリセットできます。

1  > **設定**を選択します。

2 **ネットワーク** > **詳細** > **リセット** > **はい**を選択します。

更新オプション

注意

ソフトウェアの更新中は、デバイスの電源をオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、デバイスが応答しなくなる場合があります。

ステレオとネットワーク接続によっては、複数のソフトウェア更新オプションを利用できる場合があります。更新を進める前にデバイスと接続方式を確認して、最も効率的な処理方法を決定する必要があります (ソフトウェア更新, 33 ページ)。

注意：

- デバイスは、更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。
- 新しいバージョンのソフトウェアのみをデバイスにプログラムできます。

 > **設定 > 更新**の順に選択します。

デバイスの更新: 接続されている USB フラッシュドライブ上の有効なソフトウェア更新ファイルを使用してステレオを更新します (USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する, 34 ページ)。

アクセサリ > NRX リモート: NMEA 2000 または NRX ネットワークに接続されているオプションの NMEA 2000 リモートを更新します。

アクセサリ > ERX リモート: 接続されている USB フラッシュドライブ上の有効なソフトウェア更新ファイルを使用して、ETHERNET ポートまたは Fusion PartyBus ネットワークに接続されているオプションの ERX リモートを更新します (USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する, 34 ページ)。

Garmin デバイスの保存: 接続されているデバイスの情報を接続されている USB フラッシュドライブに保存します。この情報は、適切なソフトウェア更新ファイルを含む USB フラッシュドライブを準備する際に Garmin Express™ プログラムが必要とします。

工場出荷時の設定にリセット: 初期設定にリセットします。

追加のステレオコントロールオプション

Garmin ウォッチに接続する

ウォッチの詳細については、garmin.com/manuals でウォッチのマニュアルを参照してください。

- 1 ウォッチのマニュアルの指示に従って、Fusion Audio ストアからウォッチに Connect IQ™ アプリをインストールします。
- 2 ステレオで **BLUETOOTH** ソースを選択します。
- 3  > **BLUETOOTH > コネクション > 検出可能**を選択します。
ステレオは 2 分間検出可能になります。
- 4 ウォッチをステレオから 3 m (10 ft.) 内に置きます。
注意： ペ어링中は、他の ANT® デバイスから 10 m (33 ft.) 以上離します。
- 5 ウォッチで Fusion Audio アプリを開きます。
アプリをウォッチで初めて開くと、ウォッチは自動的にステレオとペ어링されて接続します。別のステレオとペ어링したい場合は、Fusion Audio アプリで **Settings > Pair New** の順に選択します。
- 6 ウォッチの Fusion Audio アプリを使用して、オーディオ再生を操作します。

デバイスはペ어링されると、電源がオンになったとき範囲内にあれば、自動的に接続し、アプリはウォッチで開きます。

ARX70 リモートコントロールに接続する

- 1 ステレオで **BLUETOOTH** ソースを選択します。
- 2  > **BLUETOOTH** > **コネクション** > **検出可能**の順に選択します。
- 3 ARX70 リモートコントロールをステレオの 10 m (33 ft.) 以内に置きます。
注意： ペアリング中は、他の ANT デバイスから 10 m (33 ft.) 以上離します。
- 4 ARX70 リモートコントロールで、ステータス LED が緑と赤で交互に点滅するまで  を長押しします。
リモートコントロールがそのステレオを検索します。リモートコントロールのペアリングが正常に終了すると、ステータス LED が短く緑で点灯してから消灯します。
リモートコントロールがステレオを検出できない場合は、ステータス LED が短く赤で点灯してから消灯します。

Fusion Audio ワイヤレスリモートコントロールアプリ

互換性のある Fusion Audio または Apple デバイスの Android リモコンアプリを使用して、ステレオ音量の調整、ソースの変更、再生の制御、ラジオプリセットの選択と管理、および一部のステレオ設定を調整できます。アプリを使用して、ステレオの DSP プロフィールを設定および構成できます。アプリを使用して、ステレオのソフトウェアを更新できます。

アプリは、モバイルデバイスへのワイヤレス接続を使用してステレオと通信します。アプリを使用するには、Bluetooth または Wi-Fi 技術を使用して、対応デバイスをステレオに接続する必要があります。

ステレオが Wi-Fi アクセスポイントでネットワークに接続されている場合、アプリはネットワークを使用してステレオと通信し、Bluetooth 接続よりも広い通信範囲を得ることができます。

注意： Bluetooth 接続を使用してステレオのソフトウェアを更新することはできません。ステレオソフトウェアをワイヤレスで更新するには、Wi-Fi 接続を使用してアプリを接続する必要があります。

対応する Fusion Audio デバイスまたは Apple デバイスの Android リモコンアプリの詳細については、Apple App StoreSM または Google PlayTM ストアにアクセスしてください。

Fusion ステレオネットワークの接続とコントロール

サポートされているネットワーク方式を使用して接続すると、船舶の操舵装置、フライブリッジ、またはナビゲーションステーションに取り付けられた互換性のある多機能ディスプレイで、互換性のある Fusion エンターテインメントシステムを完全に制御できます。エンターテインメントコントロールは統合され、すっきりしたコンソールが実現します。

接続されたステレオが船舶のどこに設置されていても、接続された多機能ディスプレイをポータルとして、船舶上のすべてのオーディオを操作できます。スペースが問題になっていてユーザーがステレオにアクセスするのはリムーバブルメディアを交換するためだけであれば、互換性のある Fusion ステレオを目立たない場所に設置できます。

このデバイスは、イーサネットや Wi-Fi ワイヤレス技術など、既存の業界標準ネットワーク接続を使用して、互換性のある多機能ディスプレイと通信できます。

注意： Garmin 多機能ディスプレイは、イーサネット経由で接続されている必要があります。

このデバイスは、既存の業界標準 NMEA 2000 ネットワークを使用して、互換性のある多機能ディスプレイと通信できます。

NMEA 2000 リモコンおよびディスプレイ

ステレオは、船舶全体のオーディオゾーンに設置された、対応する Fusion 有線リモコンで操作できます。エンターテインメントシステムをリモコンから操作するのは、メインステレオから操作するのと同じことです。

Fusion 有線リモコンは既存の NMEA 2000 ネットワーク上で動作するため、リモコンをステレオに直接配線する必要はありません。ステレオと同じ NMEA 2000 ネットワークに接続されているすべてのリモコンで、ステレオを操作できます。

Fusion 有線リモコンは、NMEA[®]ディスプレイとして使って、既存の NMEA ネットワーク上の他の NMEA デバイスから NMEA 2000 ナビゲーションデータまたは船舶の性能データを表示することもできます。サポートされている NMEA 2000 PGN 情報については、リモコンに付属の説明書を参照してください。

NMEA 2000 の情報

NMEA 2000 は、船舶内のデータ通信で最も一般的な船舶規格です。船舶内でナビゲーションおよびエンジン管理のデータを送信するための規格となりました。Fusion は、オーディオリモートコントロールデバイスに NMEA 2000 機能を組み込むことで、業界初の製品を発表します。これにより、ユーザーは、接続された NRX シリーズリモートコントロールで NMEA 2000 ネットワーク経由で利用可能な関連する NMEA 2000 パラメータグループ番号 (PGN) データを監視できます。

付録

Fusion デバイスの登録

今すぐオンライン登録を完了していただければ、お客様へのサポートはさらに容易になります。

- garmin.com/account/register を参照してください。
- 購入時のレシートの原本またはコピーは安全な場所に保管しておいてください。

デバイスのクリーニング

- 1 柔らかく清潔な糸くずの出ない布を真水で湿らせます。
- 2 デバイスを軽く拭きます。

ソフトウェア更新

最良の結果を得るには、定期的にすべての Fusion デバイスのソフトウェアを更新する必要があります。接続されているすべてのステレオが同じソフトウェアバージョンを使用していない場合、Fusion PartyBus グループ機能などの一部の機能が正常に動作しない場合があります。

ステレオとネットワークの接続によっては、次の更新方法のいずれかまたはすべてを使用できます。

- Wi-Fi 機能付きのステレオが 1 つ以上ある場合、またはワイヤレスネットワークに接続されている場合は、Fusion Audio リモートコントロールアプリを使用してソフトウェアを更新できます ([Fusion Audio アプリを使用したソフトウェアの更新, 37 ページ](#))。
- リモートコントロールアプリを使用しない場合は、USB フラッシュドライブに保存されたシングルステレオ更新ファイルを使用してソフトウェアを更新できます ([USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する, 34 ページ](#))。
- ステレオが互換性のある Garmin チャートプロッターに接続されている場合は、Garmin Web サイトまたは Garmin Express からダウンロードしてメモリーカードに保存したネットワークフルマリンパッケージ更新を使用してステレオを更新できます ([ネットワーク更新オプション, 37 ページ](#))。

この表を使用すると、ステレオに対して使用できる更新方法を最適に判断し、各更新タイプに関する追加情報を見つけることができます。

デバイス	利用可能な更新方法	更新方法の詳細
Fusion Apollo ステレオのみ	- Fusion Audio リモートコントロールアプリ - USB フラッシュドライブ (シングルステレオ更新)	なし
- 有線 Garmin BlueNet または Garmin Marine Network 接続を使用して Garmin チャートプロッターに接続された 1 台以上の Fusion Apollo ステレオ。 1 台以上のチャートプロッターまたはステレオと同じ NMEA 2000 ネットワークに接続された 1 台以上の Garmin Spectra 照明コントローラがある／ない場合	- ネットワーク接続された互換性のある Garmin チャートプロッターを使用したメモリーカード (フルマリンパッケージネットワーク更新) - Fusion Audio リモートコントロールアプリまたは USB フラッシュドライブ (シングルステレオ更新)²	- フルマリンパッケージ更新方法では、有線 Garmin BlueNet または Garmin Marine Network および NMEA 2000 ネットワークに接続されているすべての Garmin デバイス (接続されたステレオや照明コントローラを含む) が一度に更新されます。 - ステレオに接続されている NRX リモートコントロールは、フルマリンパッケージ更新方法の一部として更新されません。これらのデバイスに対しては、個別に更新を実行する必要があります (更新オプション, 31 ページ)。 - ステレオが Garmin チャートプロッターに接続されている場合は、チャートプロッターを介したメモリーカードを使用したフルマリンパッケージ更新方法を使用して、更新を実行する必要があります。このセットアップでは、他の更新方法を使用することはお勧めしません。

USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する

USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新できます。適切な USB フラッシュドライブは、更新ファイルを手動でダウンロードして保存するか、Garmin Express アプリを使用することによって準備できます。

注意

ソフトウェアの更新中は、デバイスの電源をオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、デバイスが応答しなくなる場合があります。

注意：

- NTFS ファイルシステムを使用してフォーマットされている USB フラッシュドライブを使用し、ソフトウェアを更新することはできません。デバイスの更新中に問題が発生した場合は、FAT32 を使用して USB フラッシュドライブをフォーマットし、更新プロセスを再試行してください。
- デバイスは、ソフトウェアの更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。
- 新しいバージョンのソフトウェアのみをデバイスにプログラムできます。

注意：更新するステレオがグループ内にある場合は、そのステレオをグループから削除する必要があります ([グループから退出する, 15 ページ](#))。

- ステレオソフトウェアを更新するための USB フラッシュドライブを準備するオプションを選択します。
 - ソフトウェア更新を手動でダウンロードし、USB フラッシュドライブにロードします ([ソフトウェア更新を手動でダウンロードする, 35 ページ](#))。
 - Garmin Express アプリを使用して USB フラッシュドライブを準備します ([Garmin Express アプリを使用したソフトウェア更新のダウンロード, 35 ページ](#))。
- ソフトウェア更新ファイルが保存された USB フラッシュドライブを用意したら、USB フラッシュドライブをステレオに挿入し、ステレオインターフェイスを使用して更新を続行します ([準備した USB フラッシュドライブからソフトウェアを更新する, 36 ページ](#))。

² 推奨されません。ステレオが Garmin チャートプロッターに接続されている場合は、フルマリンパッケージネットワーク更新を使用する必要があります。

ソフトウェア更新を手動でダウンロードする

ステレオ、ステレオアクセサリ、または適用可能な接続されたエンターテインメントデバイス用の適切な更新ファイルを Garmin Web サイトからダウンロードすることで、ステレオを更新するための USB フラッシュドライブを手動で準備することができます。

1 次のオプションを選択します：

- シングルステレオ USB ソフトウェア更新またはアクセサリソフトウェア更新ファイルをダウンロードする場合は、support.garmin.com のステレオまたはステレオアクセサリのページにアクセスします。
- エンターテインメントパッケージをダウンロードして、イーサネットケーブルを使用してエンターテインメントネットワークの一部として接続されているすべての Fusion Apollo ステレオを更新したい場合や、ステレオと同じ NMEA 2000 ネットワークに接続されている Garmin Spectra 照明コントローラを更新したい場合は、garmin.com/support/software/marine/ にアクセスします。

2 ステレオ更新ファイル、アクセサリ更新ファイル、またはエンターテインメントパッケージ更新ファイルをダウンロードします。

3 適切にフォーマットされた、十分なサイズの USB フラッシュドライブをコンピュータに挿入します。

4 .zip ファイルの内容を USB フラッシュドライブのルートに解凍します。

ソフトウェア更新の内容は、**Garmin** という名前のフォルダに格納されています。

5 USB フラッシュドライブをコンピュータから取り出すか、安全に取り外します。

ステレオに更新をインストールします ([準備した USB フラッシュドライブからソフトウェアを更新する, 36 ページ](#))。

Garmin Express アプリを使用したソフトウェア更新のダウンロード

更新用に空の USB フラッシュドライブを使用する必要があります。更新プロセスを実行すると、USB フラッシュドライブの内容が消去され、USB フラッシュドライブが再フォーマットされます。

1 ステレオの電源を入れます。

2 USB フラッシュドライブをステレオの USB ポートに挿入します。

3 > 設定 > 更新 > Garmin デバイスの保存の順に選択します。

ステレオは USB フラッシュドライブに小さなファイルを書き込みます。このファイルは、Garmin Express アプリがステレオと接続されたデバイスを識別し、適切な更新ファイルをダウンロードするために使用されます。

4 10 秒以上経過したら、USB フラッシュドライブをステレオから取り外します。

5 必要に応じて、コンピュータに Garmin Express アプリをインストールします ([コンピュータへの Garmin Express アプリのインストール, 36 ページ](#))。

6 コンピュータで Garmin Express アプリを開きます。

7 USB フラッシュドライブをコンピュータに挿入します。

8 使用可能な場合は、船舶とデバイスを選択するか、USB フラッシュドライブを読み取ってデバイスを追加するオプションを選択します。

9 更新が利用可能な場合は、ソフトウェア更新 > 続行を選択します。

10 契約条件を読み、これに同意します。

11 USB フラッシュドライブのドライブ文字を選択します。

12 再フォーマット警告を確認し、OK を選択します。

13 ソフトウェア更新が USB フラッシュドライブにコピーされるまで待ちます。

注意：更新ファイルを USB フラッシュドライブにコピーするには、数分から数時間かかる場合があります。

14 プロセスが完了したら、Garmin Express アプリを閉じます。

15 USB フラッシュドライブをコンピュータから取り出すか、安全に取り外します。

ステレオに更新をインストールします ([準備した USB フラッシュドライブからソフトウェアを更新する, 36 ページ](#))。

コンピュータへの Garmin Express アプリのインストール

Garmin Express アプリを Windows または Mac コンピュータにインストールできます。

- 1 garmin.com/express にアクセスします。
- 2 **ダウンロード (Windows)** または **ダウンロード (Mac)** を選択します。
- 3 画面に表示される手順に従います。

準備した USB フラッシュドライブからソフトウェアを更新する

ソフトウェアを更新する前に、ソフトウェア更新ファイルを適切な USB フラッシュドライブに手動でロードする (ソフトウェア更新を手動でダウンロードする, 35 ページ) か、Garmin Express アプリを使用してロードする (Garmin Express アプリを使用したソフトウェア更新のダウンロード, 35 ページ) 必要があります。

注意

ソフトウェアの更新中は、ステレオの電源をオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、ステレオが応答しなくなる場合があります。

注意：ステレオは、ソフトウェアの更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。

- 1 ステレオの電源を入れます。
- 2 ステレオが完全に起動したら、USB フラッシュドライブを USB ポートに挿入します。
注意：更新プロンプトが自動的に表示されるようにするには、デバイスが完全に起動した後で USB フラッシュドライブを挿入する必要があります。
- 3 ソフトウェアを自動的に更新するように求められたら、**今すぐ更新**を選択して更新を開始し、次の手順をスキップします。
- 4 更新プロンプトが自動的に表示されない場合は、次のオプションを選択します。
 - ステレオソフトウェアを更新するには、**設定 > 更新 > デバイスの更新**の順に選択します。
 - ステレオに接続されているアクセサリを更新するには、**設定 > 更新 > アクセサリー**の順に選択し、更新するアクセサリの名前を選択します。

注意

すべてのアクセサリを正しく更新するには、まずステレオソフトウェアを更新してからアクセサリを更新する必要があります。

- 5 更新プロセスが完了するまで数分待ちます。
ヒント：シングルステレオ更新では、イーサネットケーブルを使用してエンターテインメントネットワークの一部としてこのモデルの複数のステレオが接続されている場合、これらのステレオがすべて同時に更新されます。モデルが異なる複数のステレオがある場合は、それぞれを個別に更新する必要があります。エンターテインメントパッケージを使用すると、モデルに関係なく、接続されているすべての Fusion Apollo ステレオが更新されます。
- 6 ステレオの更新中は、USB フラッシュドライブを取り付けたままにしておきます。
更新プロセス中、ステレオは複数回再起動することがあります。
- 7 プロンプトが表示されたら、**再起動**を選択して更新プロセスを完了します。
- 8 再起動後にステレオが完全に起動したら、USB フラッシュドライブを取り外します。
注意：デバイスが完全に起動する前に USB フラッシュドライブを取り出すと、更新が完了しません。

Fusion Audio アプリを使用したソフトウェアの更新

ステレオに Wi-Fi アクセスポイントがある場合、またはステレオが Wi-Fi アクセスポイントを備えた Fusion PartyBus ネットワークに接続されている場合は、Fusion Audio アプリを使用してステレオのソフトウェアを更新できます。互換性のある Apple または Android 用のアプリは Apple App Store または Google Play ストアで入手できます。

注意

ソフトウェアの更新中は、ステレオの電源をオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、デバイスが応答しなくなる場合があります。

注意：更新するステレオがグループ内にある場合は、そのステレオをグループから削除する必要があります ([グループから退出する, 15 ページ](#))。

注意：

- ステレオは、ソフトウェアの更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。
 - 新しいバージョンのソフトウェアのみをステレオにプログラムできます。
- 1 必要に応じて、次のいずれかの方法でモバイルデバイスをステレオに接続します。
 - Bluetooth 接続を使用してモバイルデバイスをステレオに接続します。

注意：Bluetooth 接続を使用してステレオ情報にアクセスし、アプリが更新プログラムをダウンロードできるようにすることができますが、適切なタイミングで更新プログラムをステレオに転送するには、Wi-Fi 接続に切り替える必要があります。Bluetooth 接続のみを使用してステレオを更新することはできません。
 - ステレオの Wi-Fi アクセスポイントを使用して、モバイルデバイスをステレオに接続します。
 - ステレオと同じ Fusion PartyBus ネットワーク上の Wi-Fi アクセスポイントにモバイルデバイスを接続します。
 - 2 Fusion Audio アプリを開き、アプリにステレオが表示されることを確認します。
 - 3 モバイルデバイスがステレオまたは Fusion PartyBus ネットワーク上の Wi-Fi アクセスポイントに接続されている場合は、モバイルデバイスを Wi-Fi アクセスポイントから切断し、インターネットにつながっている別の Wi-Fi ネットワークに接続するか、通信事業者のモバイル通信に接続します。

注意：必要なソフトウェア更新ファイルをダウンロードするには、モバイルデバイスをインターネットに接続する必要があります。

ヒント：Fusion PartyBus ネットワークが現在、インターネットへのアクセスを提供するモデムまたは SIM カードを備えたルーターに接続されている場合、更新ファイルをダウンロードするために、モバイルデバイスをネットワークから切断して通信事業者のモバイル通信を使用する代わりに、ネットワークに接続したままにしておくことができます。
 - 4 Fusion Audio アプリで、 > 一般 > ソフトウェア更新の順に選択します。
 - 5 **オンラインソフトウェア更新**を選択します。

アプリがソフトウェア更新ファイルをダウンロードします。
 - 6 アプリで更新ファイルのダウンロードが終了したら、モバイルデバイスをステレオまたは Fusion PartyBus ネットワーク上の Wi-Fi アクセスポイントに再接続します。
 - 7 必要に応じて、Fusion Audio アプリでステレオに再接続します。
 - 8 必要に応じて、 > 一般 > ソフトウェアアップデートの > オンラインソフトウェア更新の順に選択します。

アプリはソフトウェア更新を Wi-Fi 接続でステレオに転送し、ステレオはソフトウェアを更新してから再起動します。

ネットワーク更新オプション

互換性のある Garmin BlueNet チャートプロッターと同じ Garmin ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続すると、互換性のある Fusion ステレオおよびアクセサリをチャートプロッターから更新できます。

Garmin ネットワーク更新を実行して、ネットワークに接続されているすべての Garmin および Fusion デバイスを更新できます。

Garmin ネットワークの更新の一部としてソフトウェアを更新する

ステレオが互換性のある Garmin BlueNet チャートプロッターと同じ Garmin ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続されている場合は、チャートプロッターでネットワーク更新を実行して、接続されているすべての Garmin デバイスと Fusion Apollo ステレオを更新できます。

注意：1 つまたは複数の NRX リモートコントロールがステレオに接続されている場合、マリネットワーク更新の一部として更新されません。これらのデバイスに対しては、個別に更新を実行する必要があります ([更新オプション, 31 ページ](#))。

- 1 必要に応じて、garmin.com/manuals にアクセスして、接続されているチャートプロッターの最新バージョンのマニュアルを探します。
- 2 次のオプションを選択します：
 - ActiveCaptain アプリを使用してソフトウェアの更新を開始します。
 - 最新の更新（マリン用）をダウンロードするには、garmin.com/support/software/marine/ にアクセスしてください。

注意：ActiveCaptain アプリを使用しない場合、更新をダウンロードし、チャートプロッター上のメモリーカードを使用してインストールする必要があります。

- 3 ネットワークの更新を実行するには、チャートプロッターのマニュアルの指示に従ってください。
ステレオを含むすべての接続されているデバイスでソフトウェアが更新されます。

注意：接続されているチャートプロッターの機能とソフトウェアバージョンによっては、チャートプロッターが最新のバージョンにアップグレードされるまで、このステレオが Garmin ネットワークの更新に含まれない場合があります。ネットワークの更新が完了してもステレオが更新されない場合は、ネットワークの更新を再度実行してください。チャートプロッターが最新の状態になってもステレオが更新されない場合は、代わりに Fusion Audio アプリまたは USB ドライブを使用してステレオの手動更新を実行してください ([ソフトウェア更新, 33 ページ](#))。

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

このデバイスのラベルは電子的に添付されています。E ラベルには、FCC または地域のコンプライアンスマークによって提供される識別番号、適用製品およびライセンス情報などの規制情報が記載されている場合があります。すべてのモデルに該当するわけではありません。

 > **設定** > **バージョン情報** > **規制情報**の順に選択します。

ステレオの Web ページ

ステレオをモバイルデバイスまたは PC を含むネットワークに接続すると、モバイルデバイスや PC の web ブラウザを使用して、ステレオに関する選択された情報を表示したり、一部の設定を調整したり、ステレオのソフトウェアを更新したりすることができます。

ステレオの Web ページへのアクセス

- 1 有線イーサネットまたは Wi-Fi 接続を使用してステレオをネットワークに接続します。
- 2 必要に応じて、PC またはモバイルデバイスをステレオと同じネットワークに接続します。
- 3 ステレオの IP アドレスを確認します：
 - 有線イーサネット接続を使用してステレオが接続されている場合は、 > **設定** > **ネットワーク** > **詳細** > **イーサネット IP** > **詳細**の順に選択します。
 - ステレオが Wi-Fi 接続を使用して接続されている場合は、 > **設定** > **ネットワーク** > **詳細** > **Wi-Fi IP** > **詳細**の順に選択します。
- 4 接続されている PC またはモバイルデバイスの Web ブラウザのアドレスバーに、「http://」と入力し、その後ステレオの IP アドレスを入力します。

PC またはモバイルデバイスのブラウザでステレオの Web ページが開きます。

ステレオの Web ページからステレオを更新する

Fusion アプリ、USB ドライブ、または Garmin ネットワークを使用してステレオを更新することをお勧めします。推奨されているいずれかの更新方法を使用しない場合は、Web ページを使用してステレオを更新できます。

- 1 接続されているネットワークからインターネットにアクセスできない場合は、support.garmin.com のステレオまたはステレオアクセサリのページからシングルステレオソフトウェア更新またはアクセサリソフトウェア更新ファイルをダウンロードし、ステレオと同じネットワーク上のモバイルデバイスまたはパーソナルコンピュータに転送する必要があります。
- 2 ステレオの Web ページで、**Device Settings** タブを選択します。
- 3 次のオプションを選択します：
 - 接続されているネットワークからインターネットにアクセスできる場合、**Check for OTA update** の下にある **Check** を選択して、使用可能なソフトウェアの更新を検索し、新しいバージョンが使用可能な場合は、**Download and install** を選択します。
 - 接続されているネットワークからインターネットにアクセスできない場合は、**File** の下にある **Browse** を選択し、ダウンロードした「update.zip」ファイルを選択し、パーソナルコンピュータまたはモバイルデバイスに転送して、**Submit** を選択します。ステレオの更新が進行され、更新が進行中であることを示すメッセージが表示されます。更新が完了すると、ステレオが再起動します。
- 4 ステレオが再起動したら、ステレオで  > **設定** > **バージョン情報** の順に選択し、ソフトウェアの更新が正常に完了したことを確認します。

トラブルシューティング

キーを押してもステレオが反応しない

- ステレオがオフになるまで  を押し続け、もう一度オンにしてステレオをリセットします。
- ステレオの電源を 2 分間切断して、ステレオをリセットします。

ステレオは DAB 放送局を受信しません

注意： Fusion Apollo RA800 には DAB モジュールが内蔵されており、標準 AM/FM アンテナをで DAB 信号を受信します。

- DAB 放送局が放送されるチューナーの地域に、ステレオが設定されていることを確認します。(チューナーの地域を設定する, 13 ページ)
- 接続されているアンテナのアンテナポートと電源設定を確認します (DAB および FM アンテナ用のアンテナポートの設定, 25 ページ)。
- サードパーティ製の DAB アンテナを接続して、DAB 受信を改善します。
- 詳細については、support.garmin.com にアクセスし、製品サポートにお問い合わせください。

Bluetooth オーディオがわずかな時間中断する

- メディアプレーヤーが何かで覆われたり遮られないようにしてください。
Bluetooth 技術は、見通しが利く範囲で最適に動作します。
- メディアプレーヤーをステレオから 10 m (33 ft.) 内に置きます。
- **検出可能設定**は、Bluetooth デバイスとステレオのペアリング後にオフにしてください。
- Wi-Fi 信号が Bluetooth デバイスの接続に干渉する可能性があります。ステレオを使用していない場合は、ステレオの Wi-Fi 設定をオフにする必要があります。

Bluetooth ソースの曲情報のうちステレオに表示されないものがある

曲のタイトル、アーティスト名、トラックの再生時間、アルバムのカバーアートワークなどの曲情報が表示されるかどうかは、メディアプレーヤーと音楽アプリケーションの機能によって異なります。

ネットワークのトラブルシューティング

ネットワーク上の Fusion Apollo デバイスが表示されないか、または接続できない場合は、次の手順を実行します。

- すべての Fusion Apollo ステレオ、リモートコントロール、ネットワークスイッチ、ルーター、ワイヤレスアクセスポイントがネットワークに接続され、オンになっていることを確認します。
- ワイヤレス Fusion Apollo デバイスがネットワーク上のワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントに接続されていることを確認します。

注意：有線接続はワイヤレス接続よりも信頼性が高くなります。可能な場合は、イーサネットケーブルを使用してデバイスをネットワークに接続する必要があります。

- 1 台のデバイス（ステレオまたはルーター）のみが DHCP サーバーとして設定されていることを確認します。有線 Garmin BlueNet または Garmin Marine Network 接続を使用して Garmin チャートプロッターに接続している場合、ネットワークの DHCP サーバーとして機能するので、接続されたステレオを DHCP サーバーとして設定する必要はありません。
- ルーターまたはワイヤレスアクセスポイントのチャンネルを変更し、干渉をテストして修正します。近くに多数のワイヤレスアクセスポイントがある場合、無線の干渉が発生する可能性があります。
- Bluetooth デバイスを取り外して、干渉をテストし、修正します。ワイヤレスアクセスポイントまたはクライアントとして設定されたステレオに Bluetooth デバイスを接続すると、ワイヤレスのパフォーマンスが低下する場合があります。
- 静的 IP アドレスを設定した場合は、すべてのデバイスが固有の IP アドレスを持っていること、IP アドレスの最初の 3 つの数字のセットが一致していること、および各デバイスのサブネットマスクが同一であることを確認します。
- ネットワークの問題の原因となる可能性がある設定変更を行った場合は、すべてのネットワーク設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。
- 有線 Garmin BlueNet または Garmin Marine Network 接続を使用して Fusion Apollo デバイスを Garmin チャートプロッターに接続した場合、デバイスのネットワーク設定は自動的に **Garmin® Marine Network** に変更されます。

ネットワーク設定が期待どおりに変更されない場合は、デバイスのネットワーク設定をリセットします ([ネットワーク設定をリセットする, 30 ページ](#))。

ネットワークステータスのアイコン

ステレオの一部の画面には、ネットワークステータスアイコンが表示されます。次の表を参照してアイコンの外観を把握し、Fusion PartyBus ネットワークの問題の診断に役立ててください。

	ステレオが有線ネットワーク接続用に設定されており、イーサネットケーブルを使用して有線ネットワークに接続されています。
	ステレオが有線ネットワーク接続用に設定されていますが、有線ネットワークを検出できません。イーサネットケーブルが接続されていないか、ネットワークに他の問題がある可能性があります。
	ステレオは Wi-Fi アクセサリ構成（WAC）モードになっており、Apple デバイ스에簡単に接続できます。
	ステレオがワイヤレスアクセスポイントとして設定されています。
	ステレオがワイヤレスクライアントとして設定されており、ワイヤレスアクセスポイントに接続されています。バーの数は信号強度を示します。
	ステレオがワイヤレスクライアントとして設定されていますが、ワイヤレスアクセスポイントに接続されていません。接続設定またはワイヤレスアクセスポイントに問題がある可能性があります。

ソフトウェア更新のトラブルシューティング

Garmin Web サイトからダウンロードしたステレオソフトウェア更新が正常に完了しない場合は、次の手順を実行します。

- ダウンロードした更新ファイルが、更新しようとしているステレオモデル用であることを確認します。特定のステレオに対応するソフトウェア更新ファイルを使用した場合にのみ、ステレオを更新できます。
- 更新ファイルがステレオに現在インストールされているものより新しいバージョンであることを確認します。ステレオにインストールできるのは、バージョンが新しいソフトウェア更新ファイルのみです。
- 更新ファイルが.zip ファイルから展開され、USB フラッシュドライブのルートに保存されていることを確認します。適切に準備された USB フラッシュドライブには、更新ファイルが格納された **Garmin** という名前のディレクトリがあります。
- USB フラッシュドライブが、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていることを確認します。NTFS ファイルシステムでフォーマットされた USB フラッシュドライブに保存した更新は、ステレオには適用されません。
- ステレオが Fusion PartyBus ネットワークグループの一部である場合は、更新を開始する前にグループからステレオを解除してください。

ステレオが Garmin ネットワーク更新の一部として更新されない

Garmin ネットワーク上のチャートプロッターを使用してステレオを更新しようとしたときにステレオソフトウェア更新が正常に完了しない場合は、次の手順を実行します。

- ネットワーク経由で更新するステレオで、ソフトウェアバージョン 6.20 以降が使用されていることを確認します。接続されているステレオでそれよりも前のバージョンのソフトウェアが使用されている場合は、ネットワーク更新に含める前に、USB フラッシュドライブまたは Fusion アプリを使用してステレオを個別に更新する必要があります。
- ネットワーク更新に初めて失敗した場合は、トラブルシューティングを進める前に再試行してください。
- Bluetooth デバイスを接続解除して、もう一度更新を試してください。
- ステレオがイーサネットケーブルを使用して Garmin チャートプロッターに正しく接続されていることを確認します。Wi-Fi テクノロジーのみを使用して接続されているステレオは、ネットワーク上の他のデバイスを使用して更新できません。
- ネットワークに Garmin BlueNet チャートプロッターとレガシー Garmin Marine Network デバイスの両方がある場合は、ステレオが Garmin BlueNet チャートプロッターまたは Garmin BlueNet 20 スイッチに接続されていることを確認します。詳細については、garmin.com/manuals/bluenet を参照してください。
- ネットワークに接続されているすべてのステレオでネットワークタイプが **Garmin® Marine Network** に設定されていることを確認します。
- ネットワークに接続されているすべてのステレオが **Wi-Fi オフ** に設定されていることを確認します。
- ネットワークタイプが **Garmin® Marine Network** に設定されておらず、ネットワークタイプを変更できない場合または **Wi-Fi オフ** に設定している場合、ステレオのネットワーク設定をリセットします ([ネットワーク設定をリセットする, 30 ページ](#))。

ステレオは Apple デバイスに接続したときロックされたままになる

- 電源ボタンを長押ししてステレオをリセットします。
- Apple デバイスをリセットします。詳細については、www.apple.com を参照してください。
- Apple デバイスに最新バージョンの iTunes® と最新のオペレーティングソフトウェアがインストールされていることを確認します。

接続されている Apple デバイスをステレオが見つけれられない

- ご使用の Apple デバイスが iAP2 (Interface Accessory Protocol 2) に対応していることを確認します。このステレオは、iAP1 デバイスに対応していません。
- iTunes デバイスに最新バージョンの Apple と最新のオペレーティングソフトウェアがインストールされていることを確認します。
- Fusion Audio デバイスに Apple アプリケーションの最新バージョンがインストールされていることを確認します。
- USB-C ケーブルをステレオに逆向きに差し込んでみてください。
- 別のケーブル（できれば Apple OEM ケーブル）を使用してみます。
- USB-A - USB-C アダプタを使用している場合は、別のアダプタを使用してみます。
- Apple デバイスをリセットします。
詳細については、apple.com を参照してください。
- Fusion 販売店に問い合わせるか、support.garmin.com にアクセスしてください。

Apple AirPlay オーディオがわずかな時間中断する

- Apple デバイスが何かで覆われたり遮られていないことを確認してください。
- Apple デバイスがステレオと同じ Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認します。
- Apple デバイスが Bluetooth 技術と Wi-Fi を使用してステレオに接続されていないことを確認します。
Bluetooth と Wi-Fi 接続の両方を使用すると、再生が中断される場合があります。

仕様

一般

重量	750 g (26.5 oz.)
防水性能	IEC 60529 IPX7 (ステレオの前面のみ、適切に取り付けられている場合) IEC 60529 IPX2 (ステレオの背面、適切に取り付けられている場合)
動作温度範囲	0~50°C (32~122°F)
保管温度範囲	-20~70°C (-4~158°F)
入力電圧	DC10.8~32 V
電流 (最大)	25 A
電流 (ミュート)	900 mA 未満
電流 (オフ時)	350 mA 未満
ヒューズ	25 A ミニブレードタイプ
NMEA 2000 LEN (DC 9 V のとき)	2 (100 mA)
Bluetooth ワイヤレス接続範囲	最大 10 m (30 ft.)
ANT ワイヤレス接続範囲	最大 3 m (10 ft.)
無線周波数およびプロトコル	Wi-Fi : 2.4 GHz@+19.49 dBm 最大 Bluetooth : 2.4 GHz@+15.11 dBm 最大 ANT : 2.4 GHz@3.22 dBm 最大
コンパス安全距離	40 cm (15.75 in.)

オンボード、クラス D アンプ

チャンネルごとの音楽出力	4 x 80 W（最大）、4 Ω
合計出力ピークパワー	320 W
チャンネルごとの出力電力 ³	4 x 40 W RMS、1% 未満の THD+N、4 Ω（CTA-2006-D）
ライン出力レベル（最大）	5.6 V（ピークツーピーク）
AUX 入力レベル（標準）	通常は 1 V RMS、最大で 2 V RMS。

チューナー周波数

チューニング	ヨーロッパおよびオーストラリア	USA	日本
FM ラジオ周波数範囲	87.5～108 MHz	87.5～107.9 MHz	76～95 MHz
FM 周波数ステップ	50 kHz	200 kHz	50 kHz
AM ラジオ周波数範囲	522～1620 kHz	530～1710 kHz	522～1620 kHz
AM 周波数ステップ	9 kHz	10 kHz	9 kHz
DAB 周波数	174～240 MHz（Band III）	該当なし	該当なし

ネットワークインタフェースとサービス

Garmin BlueNet ケーブル、Garmin Marine Network ケーブル、またはその他のイーサネットケーブルを使用してステレオに接続されたデバイスは、これらのネットワークインターフェイスおよびサービスを使用します。これらのインターフェイスとサービスはデフォルトで有効になっており、適切な機器の動作に必要です。無効にすることはできません。

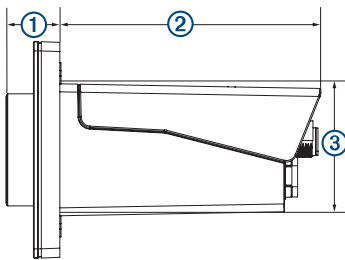
- Garmin 独自のサービス
- DHCP
- HTTP
- LLDP
- NFS
- RPC バインド
- SSH
- Telnet

注意：新しいデバイスをネットワークに接続すると、プライベート情報が新しく追加されたデバイスと同期されます。

³ ステレオは、アンプの過熱を防ぎ、オーディオダイナミクスを維持するために出力を制限することがあります。

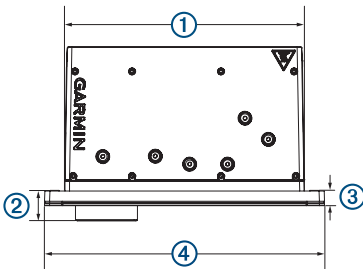
ステレオ寸法図面

側面寸法



①	20.4 mm (0.8 in.)
②	99 mm (3.9 in.)
③	50 mm (1.97 in.)

上部寸法



①	164 mm (6.5 in.)
②	20.4 mm (0.8 in.)
③	10 mm (0.39 in.)
④	192 mm (7.56 in.)

